工事名　会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事

設　計　図　書（仕様書・現場説明書含む）

関東森林管理局

図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名
建築図				構造図				機械設備図	
	表紙	Ａ－３０	1階天井伏図	Ｓ－０１	構造設計標準仕様書	Ｓ－３４	高耐力壁詳細図１	Ｍ－０１	機械設備工事特記仕様書
	図面リスト	Ａ－３１	2階天井伏図	Ｓ－０２	木質工事特記仕様書	Ｓ－３５	高耐力壁詳細図２	Ｍ－０２	衛生機器器具表・桝リスト
Ａ－０１	建築工事特記仕様書（その1）	Ａ－３２	3階天井伏図	Ｓ－０３	木造標準図（１）	Ｓ－３６	金物詳細図（１）	Ｍ－０３	給排水設備配置図
Ａ－０２	建築工事特記仕様書（その2）	Ａ－３３	4階天井伏図	Ｓ－０４	木造標準図（２）	Ｓ－３７	金物詳細図（２）	Ｍ－０４	給排水設備１階平面図
Ａ－０３	建築工事特記仕様書（その3）	Ａ－３４	建具キープラン１	Ｓ－０５	木造標準図（３）	Ｓ－３８	金物詳細図（３）	Ｍ－０５	給排水設備２・３階平面図
Ａ－０４	建築工事特記仕様書（その4）	Ａ－３５	建具キープラン２	Ｓ－０６	木造標準図（４）	Ｓ－３９	金物詳細図（４）	Ｍ－０６	給排水設備４階平面図
Ａ－０５	建築工事特記仕様書（その5）	Ａ－３６	建具表１	Ｓ－０７	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	Ｓ－４０	金物詳細図（５）	Ｍ－０７	消雪配管設備図
Ａ－０６	建築工事特記仕様書（その6）	Ａ－３７	建具表２	Ｓ－０８	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	Ｓ－４１	基礎伏図（プロパン庫）	Ｍ－０８	電熱ヒーター設備図
Ａ－０７	建築工事特記仕様書（その7）	Ａ－３８	エレベーター詳細図１	Ｓ－０９	基礎伏図	Ｓ－４２	基礎詳細図（プロパン庫）	Ｍ－０９	換気機器表
Ａ－０８	建築工事特記仕様書（その8）	Ａ－３９	エレベーター詳細図２	Ｓ－１０	基礎断面図	Ｓ－４３	土台伏図.小屋伏図.母屋伏図 （プロパン庫）	Ｍ－１０	換気設備１階平面図
Ａ－０９	建築工事特記仕様書（その9）	Ａ－４０	エレベーター詳細図３	Ｓ－１１	土台伏図	Ｓ－４４	軸組図（1）（プロパン庫）	Ｍ－１１	換気設備２・３階平面図
Ａ－１０	工事区分表（参考）	Ａ－４１	エレベーター詳細図４	Ｓ－１２	2階床伏図１	Ｓ－４５	軸組図（2）（プロパン庫）	Ｍ－１２	換気設備４階平面図
Ａ－１１	案内図・新設配置図	Ａ－４２	エレベーター詳細図５	Ｓ－１３	2階床伏図２	Ｓ－４６	地質調査位置平面図、地質想定断面図	Ｍ－１３	空調設備１階平面図
Ａ－１１a	日影図	Ａ－４３	エレベーター詳細図６	Ｓ－１４	2階床伏図３			Ｍ－１４	空調設備２・３階平面図
Ａ－１１b	日影図	Ａ－４４	エレベーター詳細図７（煙感知器施工例）	Ｓ－１５	3階床伏図１	電気設備図		Ｍ－１５	空調設備４階平面図
Ａ－１２	敷地求積図	Ａ－４５	部分詳細図１（ユニットバス）	Ｓ－１６	3階床伏図２	Ｅ－０１	電気設備工事特記仕様書	Ｍ－１６	既存撤去図
Ａ－１３	建物面積表	Ａ－４６	部分詳細図２	Ｓ－１７	3階床伏図３	Ｅ－０２	配置図		
Ａ－１４	仕上表	Ａ－４７	部分詳細図３	Ｓ－１８	4階床伏図１	Ｅ－０３	照明器具姿図・系統図・盤図		
Ａ－１５	平面図	Ａ－４８	法チェック図	Ｓ－１９	4階床伏図２	Ｅ－０４	幹線設備1階平面図		
Ａ－１６	１階平面図詳細図	Ａ－４９	ピット平面図	Ｓ－２０	4階床伏図３	Ｅ－０５	幹線設備2・3階平面図		
Ａ－１７	２階平面図詳細図			Ｓ－２１	4階小屋伏図	Ｅ－０６	幹線設備4階平面図		
Ａ－１８	３階平面図詳細図	Ｇ－０１	外構配置図	Ｓ－２２	母屋伏図	Ｅ－０７	共有部分電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備1階平面図		
Ａ－１９	４階平面図詳細図	Ｇ－０２	平面図、立面図、断面図（ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ庫）	Ｓ－２３	屋根伏図	Ｅ－０８	共有部分電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備2・3階平面図		
Ａ－２０	屋根伏図			Ｓ－２４	軸組図１	Ｅ－０９	共有部分電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備4階平面図		
Ａ－２１	立面図			Ｓ－２５	軸組図２	Ｅ－１０	住戸部分電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備詳細図		
Ａ－２２	断面図			Ｓ－２６	軸組図３	Ｅ－１１	住戸部分電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備1階平面図		
Ａ－２３	矩計図	Ｋ－０１	仮設計画図（参考）	Ｓ－２７	軸組図４	Ｅ－１２	住戸部分電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備2・3階平面図		
Ａ－２４	階段詳細図			Ｓ－２８	軸組図５	Ｅ－１３	住戸部分電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備4階平面図		
Ａ－２５	展開図１（1～3階 共通一戸）	ＫＡ－０１	解体工事特記仕様書１	Ｓ－２９	軸組図６	Ｅ－１４	弱電設備1階平面図		
Ａ－２６	展開図２（1～3階 共通一戸）	ＫＡ－０２	解体工事特記仕様書２	Ｓ－３０	軸組図７	Ｅ－１５	弱電設備2・3階平面図		
Ａ－２７	展開図３（4階）	ＫＡ－０３	案内図・解体配置図	Ｓ－３１	軸組図８	Ｅ－１６	弱電設備4階平面図		
Ａ－２８	展開図４（4階）	ＫＡ－０４	村上宿舎解体図（仕上表・平面図・立面図）	Ｓ－３２	軸組図９	Ｅ－１７	自動火災報知設備平面図		
Ａ－２９	展開図５（風除室・階段室）			Ｓ－３３	構造詳細図				

特記

測量年月日 作成年月日 訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS

株式会社 高橋建築設計事務所

管理建築士 一級建築士登録 275483

高橋 潤

設計 製図 検図

設計NO.

縮尺
A1 No scale
A3 No scale

名称 会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事

図面名 図面リスト

図面NO.

会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事設計図

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　福島県南会津郡南会津町山口字村上867-8 、867の一部

2. 敷地面積　779.16㎡

3. 工事種目
建築工事一式
建物１　宿舎　木造４階建て（１時間耐火）
　延べ床面積：733.04㎡
建物２　プロパン庫　木造１階建て
　延べ床面積：5.67㎡
外構工事一式
解体工事一式
上記に伴う電気設備工事・機械設備工事一式

質疑に関する協議等
・本設計図書における質疑事項は、工事契約前に質疑応答書をもって確認するものとし、工事契約後の数量等の異議については、基本的に受け付けないものとする。
・設計図書、内訳書等に記載が無くとも意匠上、構造上、設備上、当然必要と思われる工事に関しては、監督員の指示に従い、請負金額の範囲内で施工するものとする。
（増減対象外）
・工事に先立ち現場寸法、設計図面等を確認し製作等に支障をきたさぬようにすること。

設計図書の優先順位
１）質疑応答書・２）現場説明書・３）特記仕様書・
４）設計図・５）共通仕様書・６）内訳書の順とする。

4. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち　　　　　　の全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち 建築工事、付帯施設工事の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし，その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	※ 工事範囲すべて
3 土工事	※ 工事範囲すべて
4 地業工事	※ 工事範囲すべて ・ 構造特記仕様書による。
5 鉄筋工事	※ 工事範囲すべて ・ 構造特記仕様書による。
6 コンクリート工事	※ 工事範囲すべて ・ 構造特記仕様書による。
7 鉄骨工事	※ 工事範囲すべて ・ 構造特記仕様書による。
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	
9 防水工事	※ 工事範囲すべて
~~10 石工事~~	
11 タイル工事	※ 工事範囲すべて
12 木工事	※ 工事範囲すべて
13 屋根及びとい工事	※ 工事範囲すべて
14 金属工事	※ 工事範囲すべて
15 左官工事	※ 工事範囲すべて
16 建具工事	※ 工事範囲すべて
~~17 カーテンウォール工事~~	
18 塗装工事	※ 工事範囲すべて
19 内装工事	※ 工事範囲すべて
20 ユニット及びその他の工事	※ 工事範囲すべて
21 排水工事	※ 工事範囲すべて
22 舗装工事	※ 工事範囲すべて
~~23 植栽及び屋上緑化工事~~	

Ⅱ　建築工事仕様

1. 標準仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は，電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお，電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

3. 特記仕様書の表記
（1）項目は，番号に ○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は，⊙ 印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
　⊙印と(※)印の付いた場合は，共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　.　.　）内表示番号は，標準仕様書の当該項目，当該図又は当該表を示す。

章　項目　特記事項

① 一般共通事項

①適用基準等
図面，本特記仕様書，標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。
⊙建築物解体工事共通仕様書（最新版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部
⊙営繕工事写真撮影要領（最新版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部
⊙建築工事標準詳細図（最新版）（以下「標準詳細図」という）
　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
その他
⊙木造建築工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修）
・

②工事実績情報システム（CORINS）への登録　(1.1.4)
※適用する

③法令等の適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙風圧力
　風速（Vo=３０m/s）
　地表面粗度区分（ ・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ）
⊙積雪荷重
　平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（２３）

④工事の記録等　(1.2.4)
報告に用いる書式等
⊙現場説明書による　・
⊙標準仕様書1.2.4（4）により整備する工事写真については次による。
　『営繕工事写真撮影要領（最新版）による工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　最新版』国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

⑤電気保安技術者　(1.3.3)
※適用する

⑥施工条件　(1.3.5)
※ 標準仕様書1.3.5（1）以外の施工条件については，現場説明書による。

⑦発生材の処理等　(1.3.11)
・発注者に引渡しを要するもの
　・現場説明書による　・
⊙特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法
　・現場説明書による　・
・工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの
　・現場説明書による　・

⑧材料の品質等　(1.4.2)
（１）本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能の他，通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（２）備考欄に商品名が記載された材料は，当該商品又は同等品を使用するものとし，同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（３）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については，材料製造所の指定する工法とする。
（４）本工事に使用する材料のうち，（５）に指定する材料の製造業者等は，次の①から⑥の事項を満たすものとし，その証明となる資料（外部機関［（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」］の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし，あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可，認可，認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり，その信頼性があること。
⑥販売，保守等の営業体制を整えていること。
（５）製造業者等に関する資料の提出を求める材料
・（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料
　床型枠用鋼製デッキプレート，鉄骨柱下無収縮モルタル，無収縮グラウト材，押出成形セメント板，成形伸縮目地材，乾式保護材，セラミックタイル，既調合モルタル，既調合目地材，ルーフドレン，吸水調整材，防水剤，アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地），樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地），鋼製建具，鋼製軽量建具，ステンレス製建具，錠前類，クローザ類，自動ドア機構，自閉式上吊り引戸機構，重量シャッター，軽量シャッター，オーバーヘッドドア，ガラス，現場発泡断熱材，フリーアクセスフロア，可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口，床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル，鋳鉄製ふた
・
・

⑨技能士　(1.5.2)

適用工事種類	職　種	技能検定の作業の種別
仮設工事	とび	⊙とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	⊙鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	⊙型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	⊙コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業
コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業
	エーエルシーパネル施工	・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ⊙FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	⊙タイル張り作業
木工事	建築大工	⊙大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	⊙内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工	⊙鋼製下地工事作業
	建築板金	⊙内外装板金作業
左官工事	左官	⊙左官作業
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	⊙ガラス工事作業
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
塗装工事	塗装	⊙建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業
		・カーペット系床仕上げ作業
		⊙ボード仕上げ工事作業
	表装	⊙壁装作業
排水工事	配管	⊙建築配管作業
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカー工事作業
		・加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・造園工事作業

⑩化学物質の濃度測定　(1.5.9)
※適用する
　測定時期　・現場説明書による　⊙完成後
　測定対象化学物質
　　・ ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレン
　　・
　測定方法　⊙パッシブ型採取機器による　・
　測定対象室及び測定箇所　・仕上げ表による　⊙ 2ヶ所

11 技術検査　(1.6.2)
・中間技術検査　実施回数（　）回
　実施する段階（　）

⑫完成時の提出図書　(1.7.1〜1.7.3)(表1.7.1)
工事完成時の提出図書
　※標準仕様書1.7.2及び1.7.3による
　・
完成図の提出　（ ３ ）部
　提出仕様（⊙紙ベース　⊙電子データ　・　）
保全に関する資料の提出（ １ ）部
　提出仕様（⊙紙ベース　⊙電子データ　・　）

⑬完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し，監督職員に提出する。
　撮影箇所（　）
　撮影仕様（　）
　提出仕様（　）

⑭設計ＧＬ
⊙図示による　・

② 仮設工事

1 監督職員事務所　(2.3.1)
※設ける
　規模，仕上げの程度，設備，並びに備品等の種類及び数量は現場説明書による。

②工事用水
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（(※)有償　・無償 ）

③工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（(※)有償　・無償 ）

③ 土工事

①埋戻し及び盛土　(3.2.3)(表3.2.1)
埋戻し及び盛土の材料及び工法
　※標準仕様書 表3.2.1による　・
　　・Ａ種　施工箇所（　）
　　⊙Ｂ種　施工箇所（　）
　　・Ｃ種　施工箇所（　）土質（　）受渡場所（　）
　　・Ｄ種　施工箇所（　）

②建設発生土の処理　(3.2.5)
(※)構外搬出適切処理
・構内指定場所に堆積　・構内指定場所に敷均し

④ 地業工事　※ 記載なき限り構造特記仕様書による

1 試験及び報告書

・杭基礎　(4.2.1)(4.2.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6)
　支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む）
　　・図示による　・
　試験杭の位置
　　・図示による　・

・直接基礎　(4.2.1)
　支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む）
　　・図示による　・
　試験掘り（根切り底の状態の確認等）　(3.2.1)
　・行わない
　・行う
　　位置等　・図示による　・

・杭の載荷試験　(4.2.3)
　載荷試験の方法
　　・鉛直載荷試験
　　　・地盤工学会基準JGS（　）による　・
　　・水平載荷試験
　　　・地盤工学会基準JGS 1831 による　・
　　・
　試験の位置，本数，載荷荷重
　　・図示による　・
　報告書の記載事項
　・

・地盤の載荷試験　(4.2.4)
　載荷試験の方法
　　平板載荷試験　・地盤工学会基準JGS 1521 による　・
　試験の位置，載荷荷重
　　・図示による　・
　報告書の記載事項
　・

2 既製コンクリート杭

種類　(4.3.3)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
　SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490
・

杭の種類，性能及び曲げ強度区分（種別），寸法，継手の箇所数等　(4.2.2)(4.3.3)

		種類	コンクリート強度(N/mm²)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭									
本　杭	上杭 中杭 下杭									

杭先端部形状　(4.3.3)
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・

・セメントミルク工法　(4.3.1)(4.3.4)
　掘削深さ
　　・図示による　・
　杭の支持層への根入れ深さ
　　・図示による　・
　杭の水平方向の位置ずれ精度
　　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
　根固め液及び杭周固定液の管理試験
　　※標準仕様書4.3.4(6)(ｺ)による　・
・特定埋込杭工法　(4.3.1)(4.3.5)
　・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
　・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法
　　α=（　），β=（　），γ=（　）
　工法
　　・プレボーリング拡大根固め工法
　　・中掘り拡大根固め工法
　　・

杭継手工法　(4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)
・アーク溶接継手
　溶接材料
　　・標準仕様書7.2.5(1)(2)による
　　・
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）

杭頭の処理　(4.3.8)
・処理しない
・処理する
　処理方法（切断に伴う補強方法含む）
　　・図示による　・

特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS	管理建築士　一級建築士登録　275483	設計	製図	検図	設計NO.	名称	図面NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋　潤				縮尺 Ａ１　No scale Ａ３　No scale	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 建築工事特記仕様書（その1）	Ａ－０１

④ 地業工事〈続き〉 ※ 記載なき限り構造特記仕様書による

3 鋼杭地業

杭の種類（材料），寸法，継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

		種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

・特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4)
- H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
- H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法
  α=（　　），β=（　　），γ=（　　）

工法
- 中掘り拡大根固め工法
-

杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)
- アーク溶接継手
  溶接材料
  - 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
  -
- 機械式継手

杭頭の処理 (4.4.6)
- 処理しない
- 処理する
  処理方法（切断を伴う補強方法含む）
  - 図示による　・

4 場所打ち コンクリート杭地業

工法 (4.5.1)(4.5.4～4.5.6)
- アースドリル工法
- リバース工法
- オールケーシング工法
- 場所打ち鋼管コンクリート杭工法
  鋼管の種類　・SKK400　・SKK490　・
- 拡底杭工法

寸法等 (4.2.2)(4.5.4)

	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (mm)	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭								
本　杭								

・孔壁の確認（超音波測定器による） (4.5.5)
測定箇所
- 試験杭（　）箇所，本杭（　）箇所　・

杭の支持層への根入れ深さ
- 図示による　・

杭の水平方向の位置ずれ精度
- 杭径の1/4かつ100mm以下　・

鉄筋の種類 (4.5.4)(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋の加工及び組立 (4.5.4)
- 図示による　・

鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)
- 100mm　・

鉄筋かごの補強 (4.5.4)
- 図示による　・

組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)
※重ね継手　重ね継手の長さ　※標準仕様書 表5.3.2による　・
-

主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)
- 図示による　・

セメントの種類 (4.5.4)
※高炉セメントB種　・

コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)
- 図示による　・

コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)
- A種　・B種
- 評定等の内容による

スランプ (4.5.4)
- 18cm　・21cm　・（　　）cm

構造体強度補正値（S） (4.5.4)
※3N/mm²
- 図示による（　　　）
- 評定等の内容による

⑤ 砂利地業

材料 (4.6.2)
[✓ 再生クラッシャラン]　・切込砂利　・切込砕石

砂利の厚さ (4.6.3)
※60mm　・

範囲
- 基礎下，基礎梁下，土に接するスラブ下，土間コンクリート下

[✓ 図示による]　・

6 砂地業

材料 (4.6.2)
- シルト　・山砂　・川砂　・砕砂

砂の厚さ (4.6.3)
※60mm　・

範囲
- 図示による　・

⑦ 捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ (4.6.4)
※50mm　・

範囲 (4.6.4)
- 基礎下，基礎梁下，土に接するスラブ下

[✓ 図示による]　・

コンクリートの種類 (4.6.4)(6.14.1)
※普通コンクリート　・

設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm²　・

スランプ (4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm　・

⑧ 床下防湿層

材料 (4.6.2)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・

範囲 (4.6.5)
- 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

[✓ 図示による]　・

⑤ 鉄筋工事 ※ 記載なき限り構造特記仕様書による

① 鉄筋

鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備　考
[✓ SD295]	・D16以下	
[✓ SD345]	・D19以上	
・		
・		

加工 (5.3.2)
- 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径(D)（　　）以上

② 溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

種　類	種類の記号	網目の形状，寸法，鉄線の径(mm)	使用部位
[✓ 溶接金網]		6φ@150	
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)

部　位	継手の方法	呼び径(mm)
柱及び梁主筋	・ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手　・重ね継手	・
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	・
基礎，耐圧スラブ，土圧壁	[✓ 重ね継手]　[✓ ガス圧接]	・
上記以外（　土間　）	[✓ 重ね継手]　・	・

継手位置 (5.3.4)
- 図示による　・

柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4)
※標準仕様書 表5.3.2による
- 図示による　・

耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)
※標準仕様書 5.3.4(3)(ｱ)による
- 図示による　・

・先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合
- 図示による　・

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
※標準仕様書表5.3.4による
- 図示による　・

標準仕様書5.3.4(5)(ｲ)の場合の折り曲げ定着の方法
※標準仕様書 図5.3.3により5.3.4(5)(ｲ)を全て満足する
-

機械式定着工法 (5.3.4)
- 適用する
  適用箇所　・図示による　・
  種類　・図示による　・

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） (5.3.5)
※標準仕様書 表5.3.6による
　柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
- あり　使用箇所（　　　　）
  主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する

　軽量コンクリートの適用の有無
- あり　適用箇所（　　　　）
  - 最小かぶり厚さに加える厚さ（　　）mm
  -

　耐久性上不利な個所の有無（塩害等を受けるおそれのある部分等）
- あり　適用箇所（　　　　）
  - 最小かぶり厚さに加える厚さ（　　）mm
  -
- 図示による

⑤ 各部配筋

各部配筋 (5.3.7)
[✓ 図示による]　・

⑥ ガス圧接完了後の試験

抜取試験 (5.4.10)(5.4.11)
[✓ ※超音波探傷試験]　標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による
- 引張試験
  試験方法等　※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による

7 機械式継手

適用箇所 (5.5.3)
- 図示による　・

平成12建告第1463号に適合する性能 (5.5.3)
- A級　・

機械式継手の種類 (5.5.3)
- 図示による　・

鉄筋相互のあき (5.5.3)
- 評定等の内容による　・図示による

施工完了後の継手部の試験 (5.5.5)
- 外観試験（全ての圧接部）
  試験項目、試験方法
  - 図示による　・
- 超音波測定試験
  試験対象
  - 図示による　・

不合格となった継手部への措置 (5.5.5)
- 図示による　・

8 溶接継手

適用箇所 (5.6.3)
- 図示による　・

平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3)
- A級　・

溶接継手の工法 (5.6.3)
- 図示による　・

鉄筋相互のあき (5.6.3)
- 図示による　・

施工完了後の継手部の試験 (5.6.5)
- 外観試験（全ての圧接部）
  試験項目、試験方法
  - 図示による　・
- 超音波測定試験
  試験対象
  - 図示による　・

不合格となった場合の措置 (5.6.5)
- 図示による　・

⑥ コンクリート工事 ※ 記載なき限り構造特記仕様書による

① コンクリートの類別等

コンクリートの種別 (6.2.1)(表6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

[✓ 普通コンクリート（構造図による）] (6.2.1～6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度 (N/mm2)	品質管理強度 (Fq=N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所
・18	・18	※15	捨てコンクリート
・21	・24	※15又は18　・	基礎，土間
・		・	
・		・	
・		・	

・軽量コンクリート (6.2.1)(6.2.10)
（特記事項は，「9．軽量コンクリート」に示す）

・建築基準法第37 条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6.2.1)
適用箇所（・　　　　）

構造体強度補正値 (6.3.2)
※標準仕様書表6.3.2による
-

② セメント

種類 (6.3.1)
※普通ポルトランドセメント，高炉セメントA種，シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
　適用箇所（※下記以外全て　・　　　）
- 高炉セメントB種
  適用箇所（・　　　　）
- フライアッシュセメントB種
  適用箇所（・　　　　）
- 普通エコセメント
  適用箇所（・　　　　）
  - 再生骨材Ｈを使用する　適用箇所（　　　） (6.3.1)

  湿潤養生の期間（　　）日以上 (6.7.2)

  型枠の最小存置期間（　　　　） (6.8.4)

③ 骨材

フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 (6.3.1)
- 使用する　適用箇所（・　　　　）

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※A　・B

④ 混和材料

・混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・

・混和材 (6.3.1)
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・

標準仕様書6.3.2(ｲ)(f)の①～③以外の混和材料 (6.3.2)
- 混和剤（　　　）　・混和材（　　　）

使用方法　・
使用量　・

⑤ 打継ぎの位置，ひび割れ誘発目地，打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
- 図示による　・

柱及び壁
※スラブ，壁梁又は基礎の上端
- 図示による　・

目地の寸法（ひび割れ誘発目地を含む） (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
※標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による
- 図示による　・

ひび割れ誘発目地の位置，形状 (6.8.1)
- 図示による　・

⑥ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4)

種　別	適　用　箇　所
・A種	・図示
・B種	・図示
[✓ C種]	・図示

コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(表6.2.5)

種　別	適　用　箇　所
・a種	・図示
・b種	・図示
・c種	・図示

⑦ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ
[✓ 打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）] (6.8.1)
・20mm　[✓ 15mm]
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm　・20mm　・

打増し範囲
- 図示による　・

⑧ 型枠

せき板の材料 (6.8.2)
※標準仕様書6.8.2(1)(ｱ)，(ｲ)による
[✓ 合板]（厚さ　※12mm　・　　　）
-

・断熱材を兼用した型枠 (6.8.2)
使用箇所
- 図示による　・

・MCR工法用シート (6.8.2)
適用箇所
- 図示による　・

スリーブの材種・規格等 (6.8.2)
- 図示による　・

9 軽量コンクリート

適用箇所 (6.10.1)
- 図示による　・

種類 (6.10.1)(表6.10.1)
- 1種　・2種

気乾単位容積重量
- （　　）t/m³

スランプ
※21cm　・

10 寒中コンクリート

適用期間 (6.11.1)
- 図示による　・

構造体強度補正値(S) (6.11.2)
- 標準仕様書6.11.2(3)(ｱ)による
- 積算温度を基に定める（　　　　）

⑪ 暑中コンクリート

構造体強度補正値(S) (6.12.2)
※6N/mm²　・

12 マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)
- 図示による　・

セメントの種類 (6.13.2)
- 普通ポルトランドセメント
- 中庸熱ポルトランドセメント
- 低熱ポルトランドセメント
- 高炉セメントB種
- フライアッシュセメントB種
- シリカセメント

混和材料
・混和剤 (6.13.2)
　混和剤の種類
　※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・
　混和剤の種類
　※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による　・

スランプ (6.13.2)
※15cm　・

構造体強度補正値（s） (6.13.2)
※標準仕様書 表6.13.1による　・

特　記

測量年月日　作成年月日　訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS
株式会社 高橋建築設計事務所

管理建築士　一級建築士登録　275483
高　橋　潤

設　計　製　図　検　図

設計NO.
縮尺 A1 No scale A3 No scale

名　称 会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事
図面名 建築工事特記仕様書（その2）

図面NO. A－02

⑥ コンクリート工事〈続き〉

※ 記載なき限り構造特記仕様書による

⑬ 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
※普通コンクリート　・

設計基準強度 (6.14.1)
※18(N/mm²)　・

スランプ (6.14.1)
※15cm又は18cm　・

適用箇所 (6.14.1)
・標準仕様書 6.14.1(4)による
[✓ ・図示による]　・

・標準仕様書 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 (6.14.1)
（　　　　　　　　）

14 流動化コンクリート

適用箇所 (6.15.1)
・図示による　・

⑮ コンクリートの単位水量測定

(6.5.1)
[✓ ・行う]　・行わない

実施要領

(1)単位水量の測定は，150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。

(2)単位水量の上限値は，標準仕様書6.3.2(ｲ)(c)による。

(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして，施工する。

1)測定した単位水量が，計画調合書の設計値(以下，「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。

2)測定した単位水量が，設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し，その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m³以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。

3)設計値±20kg/m³を超える場合は，生コンを打込まずに持ち帰らせ，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに，設計値±15kg/m³以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。

4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。

(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書，製造管理記録，打込み時の外気温，コンクリート温度等)と写真により提出する。

(5)単位水量の測定方法は，高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)，エアメータ法又は静電容量測定法による。また，試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
・国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（　　　　）グレード以上
・監督職員の承諾する工場

2 施工管理技術者

※適用する (7.1.3)(7.1.4)

3 鋼材

材質等 (7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・

形状及び寸法 (7.2.1)
・図示による　・

板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10)
・行う（適用箇所：　　　　　）　・行わない

4 高力ボルト

高力ボルトの種類 (7.2.2)
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト

ボルトの寸法 (7.2.2)
ねじの呼び　・図示による　・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
・図示による　・

摩擦面の性能及び処理
・すべり試験 (7.4.2)
試験の方法等
・図示による　・
・溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5)
※標準仕様書7.12.5(1)(ｱ)，(ｲ) による
・

JIS 形高力ボルトの締付け（本締め） (7.4.7)
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・図示による　・

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
※標準仕様書 表7.2.3による　・

ボルトの形状及び寸法 (7.2.3)
ねじの呼び　・図示による　・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
・図示による　・

母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)
※ねじの呼び径＋1.0mm　・

6 アンカーボルト

種類 (7.2.4)
・構造用アンカーボルト
・ABR400　・ABR490　・
・建方用アンカーボルト
・SS400　・　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書表7.2.3による　・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
・図示による　・

7 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・図示による　・

8 ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト　・
建築用ターンバックル胴
※割枠式　・
ねじの呼び等 (7.2.6)
・図示による　・

9 床構造用デッキプレート

材質，形状及び寸法 (7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備　考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
・			

鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8)
・図示による　・

10 スタッド

種類等 (7.2.8)

呼び名	呼び長さ（mm）	適　用　箇　所
・16		
・19		
・22		

11 柱底均しモルタル

・無収縮モルタル (7.2.9)(表7.2.5)
無収縮モルタルの材料，調合等
※標準仕様書7.2.9(2)による　・
・標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル

12 鉄骨の仮組

※行う (7.3.10)
仮組を行う範囲
・図示による　・

13 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
・図示による　・

14 溶接接合

開先の形状 (7.6.4)
・図示による　・

鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 (7.6.7)
・図示による　・
切断面の仕上げ
※標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による　・
スカラップの形状
・図示による　・

低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7)
・図示による　・

15 溶接部の試験

溶接部の外観試験 (7.6.12)
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法
・「 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3.5.2 受入検査による。
・抜き取り検査①　※抜き取り検査②
・
JASS6付則6の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
・JASS 6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし，完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は，超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
・

・完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)
・工場溶接の場合
AOQL(%)　※4.0　・2.5

節	・全て			
検査水準	※第6水準			

16 錆止め塗装

塗料の範囲 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
・標準仕様書7.8.2(1)による
・図示による
下記以外の塗料の種別は，18 章による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種別 (表18.3.1)
※A種　・B種
・耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

17 耐火被覆

種類，材料，工法等 (7.9.2～7.9.8)

種　類	材料・工法	耐火性能（時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	―		
・耐火塗料			

18 アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による　・

構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による　・

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1)
種別　・A種　・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2)
厚さ　・　mm
種別　※A種　・

19 軽量形鋼構造

ボルト接合方法 (7.11.2)
・普通ボルト接合　・

8 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

材料 (8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ（mm）	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・				・無　・有		
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比） (8.2.3)
ブロックの区分が A(08)，B(12)，C(16)の場合で、目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による
上記以外の場合　・

各部の配筋　・図示による　・ (8.2.5)

目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ (8.2.7)

まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて，モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 (8.2.8)
・図示による　・

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

材料 (8.3.2)(表8.3.1)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
※空洞ブロックC(16)				・無　・有	※表8.3.1	
・	・120 ・150			・無　・有	※塀	
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比） (8.3.3)
ブロックの区分がA(08)，B(12)，C(16)の場合で，目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による
上記以外　・

鉄筋の継手，定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4)
・図示による　・

各部の配筋　・図示による　・ (8.3.4)

3 ＡＬＣパネル

材料，構法 (8.4.2～8.4.5)(表8.4.2～表8.4.4)

パネルの区分			単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	幅及び長さ（mm）	耐火性能（時間）	構法の種別
用途	形状	表面加工					
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠		・100 ・	・図示	・有(1)	・A種　・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠		・100 ・	・図示	・有(1) ・無	・C種　・D種 ・E種
・屋根版用	―	―		・100 ・	・図示	・有(0.5)	・F種
・床版用	―	―		・100 ・	・図示	・有(　) ・無	

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2)
・図示による　・
・外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (8.4.3)(8.4.5)
耐風圧性能　（　　　　　）
耐震性能　（　　　　　）
・間仕切壁パネル構法 (8.4.4)
耐震性能　（　　　　　）

パネル幅の最小限度（mm） (8.4.3)(8.4.4)(8.4.5)
・300 未満（・図示　・　　）
パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅（mm） (8.4.3)(8.4.4)
※10～20mm　・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない (8.4.3)(8.4.4)

4 押出成形セメント板（ECP）

材料，工法 (8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

パネルの種類	形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法の種別	備考
・外壁パネル	・Ｆ（フラットパネル）	・50　・60　・	600	・Ａ種 ・Ｂ種	
	・Ｄ（デザインパネル）	・50　・60			
	・Ｔ（タイルベースパネル）	60			
・間仕切壁パネル	・Ｆ（フラットパネル）	・50　・60　・	600	・Ｂ種 ・Ｃ種	
	・Ｄ（デザインパネル）	・50　・60			
	・Ｔ（タイルベースパネル）	60			

・外壁パネル工法 (8.5.3)
耐風圧性能　（　　　　　）
耐震性能　（　　　　　）
・間仕切壁パネル工法 (8.5.4)
耐震性能　（　　　　　）

耐火構造以外の目地及び隙間の処理 (8.5.3)(8.5.4)
※パネルの製造所の仕様による　・
パネル幅の最小限度（mm） (8.5.3)(8.5.4)
・300未満（・図示　・　　）
パネルの相互の目地幅（mm） (8.5.3)(8.5.4)
長辺の目地幅　・10以上　・図示による
短辺の目地幅　・15以上　・図示による
出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅（mm） (8.5.3)(8.5.4)
※15 程度（シーリング材を充填）　・図示による
溝堀及び開口部の措置 (8.5.5)
やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度
・図示による　・

特　記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS－ENGINEERS 株式会社 高 橋 建 築 設 計 事 務 所	管理建築士　一級建築士登録　275483 高　橋　　潤	設　計	製　図

検　図

設計NO.

縮尺　Ａ１　No scale　Ａ３　No scale

名　称　会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事

図面名　建築工事特記仕様書（その3）

図面NO.　Ａ－０３

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.6)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又は フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・AI-1		（厚さ） ・　mm	※フラットヤーンクロス　70g/㎡程度 ・
・AI-2			
・AI-3			
・BI-1			
・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上

押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)
※アルミニウム製Ｌ-30×15×2.0mm程度
・

立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(表9.2.6)
・適用する　・適用しない

屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	
			種類	使用量
・D-1			・	※製造所の仕様による ・
・D-2				
・D-3				
・D-4		（種類） ・ （厚さ） ・25mm		
・DI-1				
・DI-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書　表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・R種　・N種
厚さ　・　mm以上

押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)
※アルミニウム製Ｌ-30×15×2.0mm程度
・

絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び装置数量 (9.2.3)
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　個

屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9)
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層　・設ける（ ※図示　・　） (9.2.3)
・設けない

E－1の工程3を行う場合の部位 (表9.2.9)
※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位
・

施工 (9.2.4)
防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4)
・適用する（施工範囲　・図示　・　）
・適用しない
防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4)
※標準仕様書 表6.2.4のB種　・
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4)
・図示による　・

保護層等の施工 (9.2.5)
平場の保護コンクリートの厚さ (9.2.5)
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・
立上り部の保護工法 (9.2.5)
・乾式保護材
乾式保護材の材料　・ (9.2.2)
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等）
・れんが押え（・図示　・　）
れんがの材料
・JIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが） (9.2.2)
・
屋上排水溝の設置 (9.2.5)
・図示による　・

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種別 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料	
				種類	使用量
・AS－T1				・	※製造所の仕様による ・
・AS－T2					
・AS－T3					
・AS－T4					
・AS－J1					
・ASI－T1		（種類） ・ （厚さ） ・　mm	・設ける ・設けない		
・ASI－J1					

改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による　・
押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.2)
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3)
種類　※改質アスファルトシートの製造所の指定
・
設置数量　※改質アスファルトシートの製造所の指定
・　個

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料	
					種類	使用量
・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用	・	※製造所の仕様による ・
・S-F2						
・S-M1					・	※製造所の仕様による ・
・S-M2						
・SI-F1			（種類） ・ （厚さ） ・　mm		・	※製造所の仕様による ・
・SI-F2						
・SI-M1			（種類） ・ （厚さ） ・　mm		・	※製造所の仕様による ・
・SI-M2		※発泡ポリエチレンシート ・				

屋内防水層の種別 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	保護層		
		平場のモルタル塗り		立上り部の保護モルタル塗り厚さ
		塗厚（mm）	工法	
・S-C1	・	・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2)
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による　・
固定金具の材質及び形状 (9.4.2)
材質　※防錆処理した鋼板，ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
・
厚さ(mm)　※0.4以上
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3)
種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・　個
断熱工法（SI-M1，SI-M2の場合）の防湿用フィルム (表9.4.2)
・設置する　・設置しない

接着工法の場合のＰＣコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4)
・行う（・図示　・　）　・行わない
ＰＣコンクリート下地の入隅部の増張り (9.4.4)
（S-F1，SI-F1の場合）
・行う（・図示　・　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・

4 塗膜防水

防水層の種別 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層
		種類	使用量	
・X-1		・	※製造所の仕様による ・	
・X-2		・	※製造所の仕様による ・	
・Y-1	・地下外壁防水 ・			
・Y-2	・屋内防水 ・			・ ・

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3)
種類　※主材料の製造所の仕様　・
設置数量　※主材料の製造所の仕様　・　個

5 ケイ酸質系塗布膜防水

防水層の下地（壁及び天井） (9.6.4)
※コンクリート打放し仕上げ（標準仕様書 表6.2.4のB種）
・
下地処理 (9.6.4)
コンクリートの打継箇所の処理
※標準仕様書9.6.4(2)(ｱ)による　・
標準仕様書9.6.4(2)(ｲ)及び(ｳ)以外の下地処理
・図示による　・

⑥シーリング

材料 (9.7.2)
種類及び施工箇所
※下表以外は，標準仕様書 表9.7.1による
ただし，外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に，カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外壁廻り、建具廻り	外壁ﾒｰｶｰ専用ｼｰﾘﾝｸﾞ（超高耐久変性ｼﾘｺｰﾝ）
水切り廻り	変成ｼﾘｺｰﾝ系（MS-2）
水廻り一般部	ｼﾘｺｰﾝ系（SR-1）

仕上げを行わない施工箇所（　）

シーリング材の目地寸法 (9.7.3)
※標準仕様書9.7.3(1)による　・
接着性試験 (9.7.5)
※簡易接着性試験　・引張接着性試験　・

⑦ポリマーセメント防水

⊙図示

10 石工事

1 施工

石材の割付け　・図示による　・ (10.1.3)

2 石材等

天然石 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考
	・	・図示による			

テラゾブロック (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分（mm）	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300×300 ・400×400		

取り付用モルタル，既調合の目地用モルタル，浸透性吸水防止剤，石裏面処理材，裏打ち処理材，金物の固定に使用する充填材料
※専門工事業者の指定する製品　・ (10.2.3)

3 外壁湿式工法

受金物　材質　※ステンレス（SUS304）製　・ (10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6（mm）
（・長さ＝100mm　・長さ＝150mm）
・
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400　・　寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

ドレンパイプの材質 (10.2.3)
・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25～35φ
・

石材の厚さ（mm）　・ (10.3.2)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.3.3)
・流し筋工法
・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅（mm）　※6以上　・ (10.3.3)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

4 内壁空積工法

受金物　材質　※ステンレス（SUS304）製　・ (10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6（mm）
（・長さ＝100mm　・長さ＝150mm）
・
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400　・　寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

石材の厚さ（mm）　・ (10.4.2)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.4.3)
・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅（mm）　※6以上　・ (10.4.3)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※6m程度ごと
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

5 外壁乾式工法

外壁乾式工法の方式による金物の種類，形状，寸法等 (10.2.2)
※標準仕様書 表10.2.4による
方式　・スライド方式　・ロッキング方式
・図示による

アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※ステンレス(SUS304)製　・　寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

石材の厚さ（mm）　・ (10.5.2)
だぼ用の穴の位置
※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による　・図示による
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (10.5.3)
・図示による　・
目地　目地幅（mm）　※8以上　・ (10.5.3)
シーリング材　・適用する
（※標準仕様書9.7による　・図示 ）
・適用しない

6 床及び階段の石張り

石材の厚さ（mm）　床（　），階段（　） (10.6.2)(10.6.3)
床石張り (10.6.2)
浸透性吸水防止剤　・適用する　・適用しない
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
階段張り (10.6.3)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅（mm） (10.6.2)(10.6.3)
・図示による　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※床面積30㎡程度ごと，細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

7 笠木，甲板等の石張り

取付け工法 (10.7.2)(10.2.2)
・湿式工法　・乾式工法
湿式工法の取付け金物　・標準仕様書10.2.2(1)による
・図示による
乾式工法の取付け金物　・標準仕様書10.2.2(2)による
・図示による
方式・スライド方式　・ロッキング方式
特殊部位用金物　・標準仕様書10.2.2(3)による
・図示による
ファスナー　・図示による
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
湿式工法の材質：※ステンレス（SUS304）製　・
寸法：
乾式工法の材質：※SS400　・
寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による　・

石材の厚さ（mm）　・ (10.7.2)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※標準仕様書10.5.3(2)による
・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
目地 (10.7.2)
湿式工法の場合
一般目地　目地幅（mm）　※6以上　・ (10.3.3)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による
乾式工法の場合
目地幅（mm）　※8以上　・ (10.5.3)
シーリング材　・適用する（※標準仕様書9.7による　・図示）
・適用しない

8 隔て板

石材の厚さ（mm）　※40　・ (10.7.3)

特記

測量年月日　作成年月日　訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS－ENGINEERS
株式会社 高橋建築設計事務所

管理建築士　一級建築士登録　275483
高橋　潤

設計　製図　検図

設計ＮＯ.
縮尺
Ａ１　No scale
Ａ３　No scale

名称　会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事
図面名　建築工事特記仕様書（その4）

図面ＮＯ.　Ａ－０４

⑪ タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※標準仕様書 表11.1.1による　(11.1.3)
・図示による

② 見本焼、試験施工

見本焼き　・行う　[✓ 行わない]　(11.1.4)
試験張り　・行う　[✓ 行わない]

③ セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状，寸法等　(11.2.2)(11.2.3)(11.2.6)

施工箇所	種類	形状寸法（mm）	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無		
風除室：床	磁器質	300×300	[✓]	・	・	[✓]	・	[✓]	・	[✓]	・	[✓]	・	[✓]	
風除室：幅木	磁器質	150×150	[✓]	・	・	[✓]	・	・	[✓]	[✓]	・	[✓]	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

既調合モルタル　(11.2.3)
・既調合モルタルの製造所の仕様による
・

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法　(11.2.6)
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）
・

壁タイル張りの工法　(表11.2.3)
内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

4 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状，寸法等　(11.3.2～11.3.4)(11.3.7)

施工箇所	種類	形状寸法（mm）	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

接着剤のホルムアルデヒド放散量　(11.3.3)
※ Ｆ☆☆☆☆　・

外装タイルにおける目地詰め　(11.3.3)(11.3.5)
・行う　・行わない

目地のシーリング材　(11.3.4)

打継ぎ目地	※ポリウレタン系シーリング材	・
ひび割れ誘発目地	※ポリウレタン系シーリング材	・
伸縮調整目地	※変成シリコーン系シーリング材	・
その他の目地	※変成シリコーン系シーリング材	・

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理方法　(11.3.5)
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）
・

⑫ 木工事

① 施工一般

ホルムアルデヒド放散量　(12.2.1)
※標準仕様書12.12.1(ｳ)のいずれかによる　・

② 製材

[✓ 「製材の日本農林規格」による下地用製材]　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理
[✓ 各図参照]		※2級 ・	※A種　・B種 ・	
		※2級 ・	※A種　・B種 ・	

・「製材の日本農林規格」による造作用製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種 ・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種 ・	
			※A種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種	
		※1等	※10%以下	

・「製材の日本農林規格」以外の製材　(12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.2.3)

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	含水率	防虫処理
		（　　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	※A種　・B種 ・	・行う ・行わない
		（　　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	※A種　・B種 ・	・行う ・行わない

③ 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等　・2等
					※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率（%）
				※15以下 ・
				※15以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※15以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※15以下 ・

④ 造作用単板積層材

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.1)

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
			・有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：・1等　・2等　・3等）	・行う ・行わない

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	寸法（mm）	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率	防虫処理
		・有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し　（　　　　　）	※14%以下 ・	・行う ・行わない

[✓ ＣＬＴ（直交集成板）]　(12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）
[✓ 図示]					杉	t=36

⑤ 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹　・1等　※2等以上 針葉樹　※C-D以上　・	・行う ・行わない
		・			・	

[✓ 「合板の日本農林規格」による構造用合板]　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ（mm）	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
[✓ 図示]		[✓ ※12] [✓ ・9]　[✓ ・24]	・1級 ※2級以上	針葉樹	・ ※C-D以上		・行う [✓ 行わない]	
		※12 ・	・1級 ※2級以上		・適用する		・行う ・行わない	

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用
※特類　・
その他の場合
※1類以上　・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理
			・1類　・2類	・行う ・行わない

[✓ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板]　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品目	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
[✓ 図示]			・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント [✓ 塗装]	・行う ・行わない

・パーティクルボード　(12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
		※13タイプ ・	※MR1(M)又はMR2(P)タイプ ・		※15 ・

・構造用パネル　(12.2.1)

施工箇所	品　名	寸法(mm)

・ＭＤＦ　(12.2.1)

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑥ 接合具等

[✓ 構造図による]

造作材の化粧面の釘打ち　(12.2.2)
・適用する（※隠し釘打ち　・　　　）　・適用しない

諸金物の形状，寸法及び材質　(12.2.2)(表12.2.3～表12.2.5)
※標準仕様書12.2.2(2)(ｱ)による　・

接着剤（木れんが用接着を含む）のホルムアルデヒド放散量　(12.2.2)(12.2.3)
※Ｆ☆☆☆☆　・

⑦ 防腐・防蟻処理

[✓ 薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材]　(12.3.1)
適用部材：（　　　土台　　　）

・工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

[✓ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理（木質工事特記仕様書による）]　(12.3.1)

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
[✓ 構造図による]	※薬剤の製造所の仕様による ・	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　(12.3.1)
適用部材：（　　　　　）

・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理　(12.3.1)
適用部材：（　　　　　）

⑧ 間仕切軸組に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.4.1)

⑨ 床組に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.4.1)

⑩ 窓，出入口，その他に用いる木材

※（製材を用いる場合）吊元枠、水掛りの下枠及び敷居は、ひのき、その他は、松又は杉　(12.5.1)
[✓ 図示]

⑪ 絶甲板及び上がまちに用いる木材

※（製材を用いる場合）ひのき　[✓ 図示]　(12.6.1)

⑫ 壁及び天井に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松　[✓ 図示]　(12.7.1)

⑬ 構造材

[✓ 構造図による]

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

材料　(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等	厚さ（mm）	屋根葺形式	葺板の寸法・厚さ	下地	留め付け方法
	※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ ・			・立て平葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺			
屋根	[✓] 仕上げ表による						

下葺材料　[✓ アスファルトルーフィング940]
・改質アスファルトルーフィング下葺材
・一般タイプ
・複層基材タイプ
・粘着層付タイプ

工法　(13.2.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・
横葺の場合のけらば納め
・つかみ込み納め　[✓ けらば包み納め]
雪止め　・設置する（・図示　・　　　）

2 折板葺

材料　(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高，山ﾋﾟｯﾁによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板
		山高	山ﾋﾟｯﾁ				
	・			（　）種	※鋼板製 ・		・有り ・無し

材質の種類（　　　　　）
塗膜の耐久性の種類，っき付着量等（　　　　　）
断熱材　・有り（種別：　　　厚さ(mm)：　　　防火性能：　時間）
・無し

工法　(13.3.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・
耐雪性能に応じた工法
・適用する（・図示　・　　　）　・適用しない
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・

3 粘土瓦葺

材料　(13.4.2)

施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分				

JIS A 5208 に基づく凍害試験　・行う　・行わない
瓦桟木　材質　※杉　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
棟補強用心材　材質　※杉　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・
瓦緊結用釘又はねじ　種類　・
径　・
長さ　・
棟補強等に使用する金物等
材質　・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状　・
寸法　・
留め付け方法　・

工法　(13.4.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法
風圧力　・図示による　・
地震力　・図示による　・
・適用しない
瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値（　　　）mm
瓦桟木の留付け工法　・図示による　・
棟の工法　・7寸丸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟　・
面戸，雀口，葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタルによる　・瓦葺き用しっくいによる

④ とい

材料　(13.5.2)(表13.5.1)
といの材種　・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管
[✓ 図示]
・表面処理鋼板
・表面及び裏面の塗膜の種類（　　　）
・耐酸被覆鋼板　・
とい受金物
とい受金物の材種，形状，取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による　・
足金物の材種，形状，取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による　・
・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔0.5m以下
・図示による
防露材のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・

工法　(13.5.3)
・鋼管製といの場合の防露巻きの工法
※標準仕様書 表13.5.4による　・

⑤ ルーフドレイン

JCW 301によるルーフドレインの種類及び呼び　(13.5.2)

種　類		呼　び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	ねじ込み式	・	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	ねじ込み式	・	
[✓ バルコニー中継用]	・ねじ込み式 ・差し込み式	・	
[✓ バルコニー用]	・ねじ込み式 ・差し込み式	・	
・		・	

特　記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS 株式会社 高橋建築設計事務所	管理建築士　一級建築士登録　275483 高　橋　　潤

設　計	製　図	検　図	設計NO.	名　称	図面NO.
			縮尺 Ａ１　No scale Ａ３　No scale	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 建築工事特記仕様書（その5）	Ａ－０５

⑭ 金属工事

1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)

種　別	施工箇所（成型板，笠木，建具以外）	色合い等
・AB-1種		
・AB-2種		
・AC-1種		
・AC-2種		
・BA-1種		
・BA-2種		
・BB-1種		
・BB-2種		
・BC-1種		
・BC-2種		
・C種		

・常温乾燥形の塗装の場合（　　　　　　　　　　）

陽極酸化皮膜の着色方法 (14.2.1)
※二次電解着色　・三次電解着色

2 鉄鋼の亜鉛めっき

鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり，タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

3 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋外　※25型　・19型
屋内　※19型　・25型
・屋外の場合の形式及び寸法
野縁受，つりボルト，インサートの間隔及び周辺部端からの距離
・図示による　・
野縁の間隔
・図示による　・
工法
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所，補強方法　・図示による　・
・屋外の軒，ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
補強箇所，補強方法　・図示による　・

4 軽量鉄骨壁下地

スタッド，ランナーの種類 (14.5.3)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
・図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4)
※標準仕様書14.5.4(5)による　・図示による

5 金属成形板張り

種別　・図示による　・ (14.6.2)
表面処理　・図示による　・

取付け用下地 (14.6.3)
※標準仕様書14.4による　・図示による
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　　　） (14.6.3)
・設けない

⑥ アルミニウム製笠木

部材の種類 (14.7.2)(表14.7.1)
種類　・250形　・300形　[✓ 350形]
表面処理　種別（　　　）種 (14.7.2)(表14.2.1)
色合等　・標準色（　　　　　　　）
・特注色（　　　　　　　）
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・

⑮ 左官工事

1 ラス系下地

下地の種類 (15.2.4)
・通気工法　（・二層下地　　　・単層下地 ）
・直張り工法（・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地 ）
・図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合）
材料 (15.2.4)
ラス材及ぶ補強用平ラス
材料記号（※K　　・　　　）
種類及び単位面積当たりの質量
・二層下地通気構法
・波形ラス（W700）　・こぶラス（K800）　・力骨付きラス（BP700）
・単層下地通気構法
・リブラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス
・
ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分
※LS4（耐力壁の場合）　・
ステープルの形状及び寸法
リブラス
※L925TS以上（リブラスC（RC800）の場合）　・
波形ラス
※L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合）　・
施工 (15.2.4)
二層下地通気構法
換気口部の措置　※講ずる　・
直張り工法（ラスシートモルタル下地の場合）
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工
・図示による　・

2 せっこうボード，その他のボード下地

材料 (15.2.5)
せっこうボード，せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ
せっこうボード　　種類（　　　）　厚さ（　　mm）
せっこうラスボード　種類（　　　）　厚さ（　　mm）
木質系セメント板　　種類（　　　）　厚さ（　　mm）

3 こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定　・なし　・あり (15.2.6)

4 木ずり下地

材料 (15.2.7)
木ずり用小幅板の材種　※杉（心去り材）　・

⑤ モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料 (15.3.2)
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　　　）　形状（・図示　・　　　　） (15.3.2)
・設けない
床の目地 (15.3.5)
・設ける　目地割　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・
種類　※押し目地　・
・設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・行う　[✓ 行わない]

6 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)
※Ｆ☆☆☆☆　・

材料 (15.6.2)
・薄付け仕上塗材 (表15.6.1)(その1)

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

・厚付け仕上塗材 (表15.6.1)(その2)

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する ・適用しない
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

外装厚塗材C における上塗材がセメントスタッコ以外の場合（　　　　　　　　　　）
外装厚塗材Si，外装厚塗材E における上塗材の適用
・適用する　・適用しない

・複層仕上塗材 (表15.6.1)(その3)
・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐侯形3種 ・	・適用する ・適用しない
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐侯形3種 ・	・適用する ・適用しない
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐侯形3種 ・	・適用する ・適用しない
・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り		・適用する ・適用しない

複合仕上げ塗材の上塗材 (15.6.2)(表15.6.2)
樹脂　・アクリル系　・シリカ系　・ポリウレタン系　・アクリルシリコン系　・ふっ素系
外観　・つやあり　・つやなし　・メタリック
溶媒　・溶剤系　・弱溶剤系　・水系

7 マスチック塗材塗り

種別　・A種　・B種 (15.7.2)(表15.7.1)

8 しっくい塗り

下地の種類（　　　　） (15.10.1)
・標準仕様書15.10.1による場合以外の下地への適用　（　　　　　　　　　）
材料 (15.10.2)
・標準仕様書15.10.2(1)(ｱ)，(ｲ)による色しっくい　・適用する　・適用しない
・
調合及び塗厚 (15.10.3)(表15.10.1～表15.10.4)
既調合しっくい　※標準仕様書15.10.3(1)による　・
現場調合しっくい　※標準仕様書15.10.3(2)による　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4)(表15.10.5)
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

9 こまい壁塗り

材料 (15.11.2)
土壁用ののりの種類　※つのまた　・ふのり　・ぎんなんそう　・粉末海藻
砂壁用ののりの種類　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり　・にかわ
・合成高分子系混和剤
色土の種類　・土物仕上げ（　　　　）
・大津仕上げ（　　　　）
色砂の種類　・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
調合　下塗りの調合　※標準仕様書 表15.11.2による　・ (15.11.3)
塗厚　※標準仕様書表15.11.8による　・ (15.11.4)
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合
・図示による　・
工程　こまい壁　※A種　・B種 (15.11.5)(表15.11.9)

土物仕上げの工法 (15.11.7)
・土物仕上げ工法
・水こね土物1工法　・水ごね土物2工法　・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
大津仕上げの工法 (15.11.8)
・普通大津仕上げ工法　・大津みがき工法
ちりじゃくり　・図示による　・ (15.11.7)(15.11.8)

10 ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2)
※Ｆ☆☆☆☆　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・
吹付け厚さ（mm）　・図示による　・ (15.12.3)

⑯ 建具工事

① 防火戸

※建具表による　・ (16.1.3)
・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等
・建具表による　・

② 見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　　　） (16.1.4)
[✓ 行わない]
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　　　） (16.1.4)
[✓ 行わない]

3 防犯建物部品

・適用する（ 適用箇所　・建具表による　・　　　　） (16.1.6)
・適用しない

④ アルミニウム製建具

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による） (16.2.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による　[✓ 図示による]
外部に面する建具の種別
※標準仕様書 表16.2.1，表16.2.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　[✓ E種]
・
・防音ドア，防音サッシとする場合　遮音性の等級（・　　　）
・断熱ドア，断熱サッシとする場合　断熱性の等級（・　　　）
表面処理 (16.2.4)
外部に面する建具
種別　・BB-1種　・BB-2種 (表14.2.1)
着色　・標準色　・特注色
屋内の建具 (表14.2.1)
種別　・BB-1種　・BB-2種
着色　・標準色　・特注色
ステンレス鋼板の種類 (16.2.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1　・
ステンレス製くつずりの仕上げ (16.2.4)(16.6.4)
※ＨＬ　・
結露水の処理方法　・図示による　・ (16.2.4)
水切り板，ぜん板　・図示による　・ (16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.2.5)

⑤ 網戸等

防虫網の材料 (16.2.3)

種　類	材　種	線　径	網　目
[✓ 防虫網]	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・

6 樹脂製建具

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による） (16.3.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による　・
外部に面する建具の種別
※標準仕様書 表16.3.1，表16.3.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
・
・防音ドア，防音サッシとする場合の遮音性の等級
・T-1種　・T-2種
・断熱ドア，断熱サッシとする場合の断熱性の等級
※外部に面する建具は標準仕様書 表16.3.3による
（等級・　　　　　）
・
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
ガラス　※複層ガラス　・　　　・ (16.3.3)
ステンレス製くつずりの仕上げ (16.3.4)(16.4.4)
※ＨＬ　・
表面色　・標準色　・特注色 (16.3.4)
水切り板，ぜん板　・図示による　・ (16.3.5)(16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.3.5)(16.2.5)

⑦ 鋼製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.4.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級，水密性等級
・標準仕様書 表16.4.1による　・建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
・S-4　・S-5　・S-6
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（・　　　）
・防音ドア，防音サッシとする場合
遮音性の等級（・　　　）
・断熱ドア，断熱サッシとする場合
断熱性の等級（・　　　）
ステンレス鋼板の種類 (16.4.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1　・
点検口の類のくつずりの材料　・ (16.4.3)
鋼板類の厚さ（mm） (16.4.4)
※標準仕様書 表16.4.2による　・
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.4.4)
標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16.4.5による） (16.4.6)
・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

8 鋼製軽量建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.5.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級
・A-3　・建具表による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（・　　　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（・　　　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（・　　　）
鋼板の種類 (16.5.3)
・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
召合せ，縦小口包み板の材質　※鋼板　・ (16.5.3)
鋼板の厚さ（mm）　※標準仕様書 表16.5.1による　・図示による (16.5.4)
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.5.4)(16.4.4)
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16.4.5による） (16.5.6)
・適用する（建具符号，形式及び寸法は建具表による）

特　記

測量年月日	作成年月日	訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS—ENGINEERS
株式会社 高橋建築設計事務所

管理建築士　一級建築士登録　275483
高橋　潤

設　計	製　図	検　図

設計NO.
縮尺
Ａ１　No scale
Ａ３　No scale

名　称　会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事
図面名　建築工事特記仕様書（その6）
図面NO.　Ａ－０６

⑯ 建具工事〈続き〉

9 ステンレス製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.6.2)
　耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
　　・建具表による　・
　外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
　　・S-4　・S-5　・S-6
　・耐震ドアとする場合　　面内変形追随性の等級（・　　　）
　・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（・　　　）
　・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（・　　　）

ステンレス鋼板の種類　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1　・ (16.6.3)
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・ (16.6.4)
ステンレス鋼板のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.6.4)(16.4.4)
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ (16.6.5)

⑩ 木製建具

建具材の加工，組立時の含水率　※Ａ種　・Ｂ種 (16.7.2)(表16.7.1)
接着材のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・ (16.7.2)
枠，くつずりの材料　[✓ 建具表による]　・ (16.7.2)

[✓ フラッシュ戸] (16.7.2)(表16.7.2)
　表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備　考
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ 板面の品質　※広葉樹1等　・ ・（　　　）	
・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（　　　）	
[✓ 特殊加工化粧合板]	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（　　　）	
[✓ ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）]	表裏面の状態による区分（　　　） 曲げ強さによる区分（　　　） 接着剤による区分（　　　） 難燃性による区分（　　　） ・（　　　）	

　表面材の材料のホルムアルデヒド放散量
　　※標準仕様書16.7.2(ｲ)(a)による　・

表面板の厚さ　※表16.7.6による　・ (16.7.3)
引戸の定規縁　・召し合せかまちをいんろう付きとする (16.7.4)

・かまち戸 (16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)
　かまち樹種（　　　）　鏡板樹種（　　　）
　見込み寸法　※36mm　・建具表による　・

・ふすま (16.7.2)(表16.7.3)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)(表16.7.10)
　種別、工法　・Ⅰ型　・Ⅱ型
　上張り　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
　縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・

・戸ぶすま (16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)
　表面材の種類、品質等（　　　）
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

・紙張り障子 (16.7.3)(表16.7.7)
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

⑪ 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等 (16.8.2)
　※標準仕様書表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は建具表による
　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※標準仕様書表16.8.2による　・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※標準仕様書表16.8.3による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※標準仕様書表16.8.4による　・
木製建具に使用する戸車及びレール
　※標準仕様書表16.8.5による　・
握り玉，レバーハンドル，押板類，クレセントの取付位置 (16.8.3)
　・建具表による　・

⑫ 鍵

マスターキー　[✓ 製作する]　・製作しない (16.8.4)
鍵の製作本数　※各室3本1組　・

13 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式　・図示による　・ (16.9.2)
自動ドア開閉装置の性能値 (16.9.2)
　駆動装置の性能
　　※引き戸用駆動装置の場合，標準仕様書 表16.9.1による
　　　防錆の適用　・適用する　・適用しない
　　・
　車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能
　　※標準仕様書 表16.9.2による
　　　防錆の適用　・適用する　・適用しない
　　・
検出装置の性能
　　※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による
　　　防錆の適用　・適用する　・適用しない
　　・
引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による (16.9.2)
　種類　・光線（反射）センサー　・熱線センサー　・音波センサー
　　　　・光電センサー　・電波センサー
　　　　・タッチスイッチ
　　　　　（・無線式タッチスイッチ　・光電式タッチスイッチ）
　　　　・押しボタンスイッチ
　　　　・車椅子使用者便房スイッチ
　　　　　（・大形（開・閉）押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ）
凍結防止措置 (16.9.2)
　・適用する　・適用しない

14 自閉式上吊り引戸装置

性能 (16.10.3)
　※標準仕様書表16.10.1による　・図示による

15 重量シャッター

シャッターの種類　・管理用シャッター (16.11.2)
　　　　　　　　　・外壁用防火シャッター
　　　　　　　　　・屋内用防火シャッター
　　　　　　　　　・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター　耐風圧強度（　　）pa
開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1） (16.11.2)
　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置の設置箇所 (16.11.2)
　急降下制御装置又は急降下停止装置の設置個所
　　・図示による　・
　障害物感知装置の設置個所　・図示による　・
　危害防止機構の設置個所　・図示による　・
管理用シャッターのシャッターケース (16.11.2)
　・設ける　・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
　鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　　　　　　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ステンレス鋼板の種類 (16.11.3)(16.6.3)
　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1　・

⑯ 軽量シャッター

開閉形式　[✓ ※手動式]　・電動式（手動併用） (16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度（ 500 ）pa
電動式の場合の安全装置
　障害物感知装置の設置個所　・図示による　・
スラットの材質の種類 (16.12.3)
　[✓ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）]
　　めっき付着量　※Z06又はF06　・
　・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量　※AZ90　・
スラットの形状　[✓ インターロッキング形]　・オーバーラッピング形 (16.12.4)

17 オーバーヘッドドア

区分，材料 (16.13.2)(16.13.3)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所　・図示（　　　）

⑱ ガラス

適用は以下によるほか，ガラスの種類，厚さの組合せは建具表及び図示による。 (16.14.2)
・フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
　・図示（※建具表　・　　　）による　・
[✓ 型板ガラスの厚さによる種類]
　[✓ 図示（※建具表　・　　　）による]　・
・網入板ガラス及び線入板ガラス
　網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
　・図示（※建具表　・　　　）による　・
・合わせガラス
　材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，合わせガラスの合計厚さ，特性による種類
　・図示（※建具表　・　　　）による　・
・強化ガラス
　形状による種類，材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む），特性による種類
　・図示（※建具表　・　　　）による　・
・熱線吸収板ガラス
　板ガラスによる種類，厚さによる種類，性能による種類
　・図示（※建具表　・　　　）による　・
[✓ 複層ガラス]
　材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，複層ガラスの厚さ，断熱性による区分，日射取得性及び日射遮蔽性による区分，乾燥気体の種類
　[✓ 図示（※建具表　・　　　）による]　・
・熱線反射ガラス
　材料板ガラスの種類，厚さによる種類，日射熱遮へい性及び耐久性による区分
　・図示（※建具表　・　　　）による　・
・倍強度ガラス
　材料板ガラスの種類，厚さによる種類
　・図示（※建具表　・　　　）による　・

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2)(16.14.3)(図16.14.1)

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 [✓ 建築用ガスケット] ※グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	[✓ シーリング材] ・	※建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・

19 ガラスブロック積み

材料等 (16.14.5)

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調		目地幅(mm)		伸縮調整目地位置(mm)
			クリア	乳白	平積み	曲面積み	
・正方形	・160×160	95	・	・	※8～15	外側	※6m以下ごとに10～25
	・200×200	95	・	・	・15～25	※15以下	・図示
			・	・		内側	・
・長方形	・		・	・		※6以上	
	・		・	・		・	

壁用金属枠及び補強材　・設ける（形状　※図示　・　　　）
　　　　　　　　　　　・設けない
力骨　材質　※ステンレス鋼(SUS 304)　・
　　　寸法　※径5.5mm　・
　　　形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（　　　）
シーリング材の種類（　　　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
　　　　　　　　　寸法　・図示による　・
　　　　　　　　　形状　・図示による　・

工法 (16.14.5)
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
　　・図示による　・
　木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（　　　）
　目地部の横力骨の納まり
　　※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示による

17 カーテンウォール工事

1 取付方法，性能等

性能 (17.1.3)

耐風圧性	耐震性 水平方向(kH)	耐震性 垂直方向(kV)	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性(℃)	遮音性	断熱性
	・1.0	・0.5			・30分	・80		
	・	・			・1時間	・70		
						・60		

性能の確認方法及び判定方法 (17.1.3)
　※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料
　・

2 メタルカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による (17.2.2)
金属系材料の種類
　・アルミニウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材
　（アルミニウム材の場合）
　　規格等　標準仕様書16.2.3による
　　種別　・ (表14.2.1)
　　着色　・標準色　・特注色
シーリング材（ガラスの取付けは除く） (17.2.2)
　下表以外は標準仕様書 表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類 記　号	シーリング材の種類 主成分による区分

ガラスの取付け材料 (17.2.2)
　・シーリング　（種類：　　　）
　・構造ガスケット（材質，形状等　・図示　・　　　）
断熱材
　種類（　　　）
　厚さ（mm）（　　　）
　施工箇所　・図示による　・

形状及び仕上げ (17.2.3)
　製品の寸法許容差　※標準仕様書表17.2.1による　・
　見え掛り部の仕上げ　・
　ガラス溝の寸法，形状等　※カーテンウォールの製造所の仕様　・
取付け (17.2.5)
　躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
　　※標準仕様書 表17.2.2による　・図示による
　カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
　　※標準仕様書 表17.2.3による　・図示による
ガラスの取付け方法 (17.2.6)
　・

3 PCカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による (17.3.2)
材料
　コンクリート　種類（　　　）
　　品質　設計基準強度（Fc）　※30N/mm²　・
　　　　　スランプ　※12cm　・
　　　　　気乾単位容積質量
　　　　　　・普通コンクリートの場合　2.1t/m³を超え2.5t/m³以下
　　　　　　・
　　　　　単位水量の最大値　※185kg/m　・
　鉄筋　種類記号　※SD295　・
　補強鉄線　径（mm）　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
　　　　　　網目寸法　・

シーリング材 (17.3.2)
　下表以外は標準仕様書 表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類 記　号	シーリング材の種類 主成分による区分

ガラスの取付け材料 (17.3.2)
　・構造ガスケット（材質，形状等　・図示　・　　　）
耐火目地材　・ (17.3.2)
断熱材 (17.3.2)
　種類（　　　）
　厚さ（mm）（　　　）
　施工箇所　・図示による　・
先付けの材料 (17.3.2)
　・先付け材料の仕上材
　　・石材（・花こう岩　・大理石　・　　　）
　　・セラミックタイル
　　・
　・建具枠
　・ゴンドラ用ガイドレール

形状及び仕上げ (17.3.3)(表17.3.1)
　製品の見え掛り部の寸法許容差
　　※標準仕様書 表17.3.1による
　　・上記以外
　　　辺長（　　mm），対角線長の差（　　mm），版厚（　　mm）
　　　開口部内法寸法（　　mm），ねじれ、そり（　　mm），
　　　曲がり（　　mm），面の凹凸（　　mm），先付け金物の位置（　　mm）
　カーテンウォールの仕上げ　・
　構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差（mm）
　　・図示による　・
製作 (17.3.4)
　配筋　・図示による　・
取付け (17.3.4)
　躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
　　※標準仕様書 表17.2.2による　・図示による
　カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
　　※標準仕様書 表17.3.2による　・図示による
ガラスの取付け方法 (17.3.6)
　・

⑱ 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
　※ Ｆ☆☆☆☆　・
・防火材料　※屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする
　　　　　　・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　　　）

② 素地ごしらえ

種別 (18.2.2～18.2.7)(表18.2.1～表18.2.7)

下地面等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面	耐候性塗料塗り（DP）の場合	※B種　・A種　・C種
	上記以外の場合	※C種　・A種　・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面		※B種　・A種
コンクリート面（DP）の場合		※A種　・B種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

3 錆止め塗料塗り

種別 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1～表18.3.4)

下地面等			錆止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	A種	※A種　・B種
		DP	1回目 C種 2，3回目 D種	標準仕様書 表18.3.4
		EP-G	※B種　・A種	※A種　・B種
	見え隠れ部分	SOP	A種	※B種　・A種
		DP	1回目 C種 2，3回目 D種	標準仕様書 表18.3.4
		EP-G	※B種　・A種	※B種　・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※A種　・B種	※A種　・B種
		DP	B種	標準仕様書 表18.3.6
		EP-G	C種	※A種　・B種
	鋼製建具以外	SOP	※B種　・A種	※B種　・A種
		DP	B種	標準仕様書 表18.3.6
		EP-G	C種	※B種　・A種

④ 塗装

種別 (18.4.1～18.12.2)(表18.4.1～表18.12.1)

塗　装		種　別
[✓ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)]	木部屋外	※A種　・B種
	木部屋内	※B種　・A種
	鉄鋼面	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.4.3
[✓ クリヤラッカー塗り(CL)]		※B種　・A種
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種　・A種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	標準仕様書 表18.7.1
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.7.2
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種　・C種
[✓ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)]	コンクリート面，モルタル面等	※B種　・A種
	木部	標準仕様書 表18.8.2
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.8.4
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種
[✓ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)]		※B種　・A種
・ステイン塗り	・ピグメントステイン塗り	―
	・オイルステイン塗り（OS）	―
・木材保護塗料塗り(WP)	屋外	※B種　・A種

塗料の種類等 (表18.5.1)
　クリヤラッカー塗り（CL）
　　種別がA種の場合における，標準仕様書 表18.5.1の工程2
　　　・塗料の種類（　　　）
　耐候性塗料塗り（DP） (表18.7.2)
　　上塗り塗料の等級　鉄鋼面　（　　）級
　　　　　　　　　　　亜鉛めっき鋼面　（　　）級
　ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） (表18.10.1)
　　標準仕様書 表8.10.1の工程1の着色　・適用する
　オイルステイン塗り（OS）の仕様 (表18.11.2)
　　・図示による　・

特　記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS－ENGINEERS 株式会社 高橋建築設計事務所	管理建築士　一級建築士登録　275483 高　橋　　潤	設　計	製　図	検　図	設計ＮＯ. 縮尺 Ａ１ No scale　Ａ３ No scale	名　称　会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名　建築工事特記仕様書（その7）

図面ＮＯ.　Ａ－０７

⑲ 内装工事

① 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3)
※Ｆ☆☆☆☆ ・

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の (19.2.2)(表19.2.2)
ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分
・図示による ・

下地の施工 (19.2.3)
標準仕様書19.2.3(1)(ｱ)から(ｳ)以外の下地の工法
・図示による ・

② ビニル床シート

材料 (19.2.2)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS（複層ビニル床シート）	・	※2.0	
・	・	[✓ 2.5]	

接合部の処理 ※熱溶接工法 ・ (19.2.3)

3 ビニル床タイル

材料 (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（コンポジションビニル床タイル） ・TT（単層ビニル床タイル） ・FT（複層ビニル床タイル） ・FOA（置敷きビニル床タイル） ・FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	・無地 ・	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・	

4 特殊機能床

材料 (19.2.2)

シート・タイル種別	種 類	性能	厚さ，寸法，形状（mm）
・帯電防止床シート			厚さ：
・帯電防止床タイル			寸法： 厚さ：
・視覚障害者用床タイル		―	形状：
・耐動荷重性床シート		―	厚さ：
・防滑性床シート		―	厚さ：
・防滑性床タイル		―	寸法： 厚さ：

5 ビニル幅木

材質 ・軟質 ・硬質 (19.2.2)
高さ（mm） ※60 ・70 ・100
厚さ（mm） ※1.5以上 ・

6 ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・複層品 (19.2.2)
色柄 （ ）
厚さ（mm） ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法（mm） （ ）

7 カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2)(表19.3.1)

織り方	パイル形状	帯電性	備 考
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット・ループ併用	・適用する ・適用しない	

色柄，パイル糸の種類等
※色柄は模様のない無地のもの 種別 ・A種 ・B種 ・C種 (表19.3.1)
・
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
見切り，押え金物
・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ (19.3.3)

・タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・	・グリッパー工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・			
・カット，ループ併用	・			
・	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
見切り、押え金物
・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない

・タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)

種類	パイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	施工箇所	備考
※第一種 ・第二種	※ループパイル	※500×500 ・	※6.5 ・		
・第一種 ・第二種	・カットパイル	※500×500 ・	※6.5 ・		
・第一種 ・第二種	・カット，ループ併用	※500×500 ・	※6.5 ・		

見切り，押え金物 ・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・

7 合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2)
※Ｆ☆☆☆☆ ・

種類 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～8)

種 類	工 法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材（弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材）		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材（エポキシ樹脂塗床材）	・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	
・薄膜型塗床材（エポキシ樹脂塗床材）		※平滑仕上げ	
・			

⑧ フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2)
※標準仕様書19.5.2(2)による ・

単層フローリング (19.5.2～19.5.5)

種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ
・フローリングボード1等	・釘留め工法（根太張り）	・	※標準仕様書19.5.1による ・
	・釘留め工法（直張り）	・	※標準仕様書19.5.3による ・
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.5による ・
・フローリングブロック1等	・接着工法	・	・

複合フローリング (19.5.2～19.5.5)

種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ
[✓ 複合フローリング（天然木化粧）（樹脂注入）]	・釘留め工法（根太張り）	・	※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種
	[✓ 釘留め工法（直張り）]	[✓ メープル]	※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 [✓ C種]
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種

接着工法の場合の不陸緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ (19.5.5)

9 畳敷き

種別 (19.6.2)(表19.6.1)
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）

・衝撃緩和型畳
畳表（JIS A 5902） ・C1 ・C2

⑩ せっこうボード，その他ボード及び合板張り

材料 (19.7.2)(表19.7.1)

規格名称	種 類	厚さ（mm）
木質系セメント板	・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
	・中質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
	~~・普通木毛セメント板~~	~~・15 ・20 ・25 ・~~
	・硬質木片セメント板	・12 ・15 ・18 ・21 ・
	・普通木片セメント板	・30 ・
繊維強化セメント板	[✓ けい酸カルシウム板]	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿） ・6 ・8
火山性ガラス質複層板（VSボード）	・火山性ガラス質複層板	・ ・
繊維板	・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	・3 ・7 ・9 ・12 ・
	・ハードボード（素地）	・無研磨板 （・スタンダード ・テンパード） ・研磨板 （・スタンダード ・テンパード） ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
	・ハードボード（化粧）	・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
	・インシュレーションボード	A級 （・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 ・12
吸音材料	・ロックウール化粧吸音板	・フラットタイプ （・9（不燃） ・12（不燃） ・ ） ・凹凸タイプ （・9（不燃） ・12（不燃） ・ ）
	・ロックウール吸音ボード1号	・25 ・
	・グラスウール吸音ボード32K	・25（ガラスクロス包） ・
せっこうボード製品	[✓ せっこうボード]	・12.5（不燃） ・15（不燃） [✓ 9.5]
	・不燃積層せっこうボード	・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様） ・9.5（不燃） ・
	[✓ シージングせっこうボード]	・12.5（不燃） ・
	[✓ 強化せっこうボード]	[✓ 12.5（不燃）] [✓ 15（不燃）] [✓ 21（不燃）] [✓ 25（不燃）]
	・せっこうラスボード	・9.5 ・
	・化粧せっこうボード（木目）	模様（・柾目 ・板目） 専用下地材有り ・12.5（不燃）幅440mm程度
	・化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	・9.5（準不燃）

ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・
ボード表面への化粧張仕上げの有無
・有り（種類： ） ・

天井のボードの重ね張りの張り付け方法（ロックウール吸音板を除く） (19.7.3)
（ ）
せっこうボードの目地工法 (19.7.3)
種類
・図示（仕上げ表）による ・
せっこうボードのエッジの種類（突付け工法，目透し工法の場合）
・図示による ・

材料 (19.7.2)

種 類	規 格	防虫処理
・普通合板	表板の樹種名（ 針葉樹 ） 板面の品質（ C-D ） 厚さ（mm）（ 12・24 ）	・行う ・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ 表面性能（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(2)(ｲ)のいずれかによる
・

合板の張付け ・A種 ・B種 (19.7.3)(表19.7.3)

⑪ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
※Ｆ☆☆☆☆ ・

種類

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他		
壁・天井	・	・	[✓]	・	・	・	[✓ 不燃] ・準不燃 ・難燃	
台所（壁）	・	・	[✓]	・	・	・	[✓ 不燃] ・準不燃 ・難燃	

施工 (19.8.3)
モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.4)
コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.5)
せっこうボード面の素地ごしらえ及び
けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.7)

⑫ 断熱材

[✓ 断熱材打込み工法] [✓ 図示による。] (19.9.3)

種類		厚さ(mm)	施工箇所
断熱材名	種類(記号)		
[✓ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材]		・	
[✓ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）]	3種Ｂ	[✓ 50]	
・硬質ウレタンフォーム断熱材		・	
・フェノールフォーム断熱材		・	

フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

・断熱材現場発泡工法 (19.9.4)
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H ・
吹付け厚さ（mm） ・25 ・30 ・
施工箇所 ・図示による ・

⑳ ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア

材料等 (20.2.2)

施工箇所	構 造	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備 考
	・支柱調整式 ・置敷式	・500×500 ・	・	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット ・	

帯電防止性能 ・U値（クラス1） ・U値（クラス2）
漏えい抵抗 ・R≧1×10⁶Ω ・
耐荷重性能，耐衝撃性能，ローリングロード性能，耐燃焼性能の試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)による ・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)による ・

2 可動間仕切

材料等 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性能（dB/500Hz）
	スタッド	パネル		
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・スタッドパネル式 ・パネル式			・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36

パネル内に取付ける建具 ・あり（寸法及び形状 ・図示 ・ ）
・なし
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

3 移動間仕切

材料等 (20.2.4)

操作方法による種類	圧縮装置の操作方法	パネル表面材		遮音性（dB/500Hz）
		材質	仕上げ	
・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

ハンガーレールの取付け下地の補強
・標準仕様書20.2.4(3)(ｳ)による ・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
・標準仕様書20.2.4(3)(ｴ)による ・図示による
ハンガーレール
・標準仕様書20.2.4(3)(ｵ)による ・図示による
ランナー
・標準仕様書20.2.4(3)(ｶ)による ・図示による
あと施工アンカー
・使用する 種類： 材質： 寸法：
・使用しない

4 トイレブース

材料等 (20.2.5)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

⑤ 手すり

材料の種類 [✓ 図示] (20.2.7)
仕上げ ・

⑥ 階段滑り止め

材料等 (20.2.7)

材 種	形 状	寸法（mm）	取付け工法
[✓ ステンレス製（SUS 304）] ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 [✓ タイヤ型]	・ ・	※接着工法 ・埋込み工法

7 黒板及びホワイトボード

・黒板 (20.2.9)
区分 ※焼付け ・
種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
・ホワイトボード （ ） (20.2.9)

8 鏡

取付箇所 （ ） (20.2.10)

寸法（mm） ・図示による ・
厚さ（mm） ※5 ・

⑨ 表示

[✓ 衝突防止表示] (20.2.11)
形状，寸法（[✓ 80φ] ・ ）
材質 （[✓ ステンレス製] ・ ）
[✓ 非常用進入口等の表示等]
※消防法に適合する市販品 ・

室名札，ピクトグラフ，案内板等の形状寸法材質色，書体，印刷等の種別，取付け形式 (20.2.11)
[✓ 図示による(仕上表、展開図)]

⑩ タラップ

材料の種類 ※ステンレス製 ・ (20.2.12)
仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない ・

11 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材 (20.2.13)
適用安全使用温度 ・ ℃
工法 （ ）

12 ブラインド

材料等 (20.2.12)
・横形ブラインド
種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式
幅，高さ ・図示による ・
スラットの幅 ※ 25mm ・
材質
スラット ※アルミニウム合金製 ・
ヘッドボックス ※鋼製 ・
ボトムレール ※鋼製 ・
・縦形ブラインド
幅，高さ ・図示による ・
開閉方式 ・片開き ・両開き
操作方法 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式
スラットの材質 ・焼付け塗装仕上げのアルミスラット
・消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット
スラットの幅 （ ）mm

13 ロールスクリーン

材料等 (20.2.15)

材 種	品 質	操作方式	幅，高さ	取付箇所
・ポリエステル ・	・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・図示 ・	・図示 ・

巻取りパイプ，ウェイトバー，操作コード又は操作チェーンその他の材料
※製造所の仕様による ・

⑭ カーテン

材料等 (20.2.16)(表20.2.1)

形 式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別，品質，特殊加工等	取付箇所	備 考
・シングル [✓ ダブル]	・片引き [✓ 引分け]	[✓ 手引き] ・ひも引き ・電動	[✓ つまみひだ] （三つ山ひだ，二つ山ひだ） ・箱ひだ，片ひだ ・プレーンひだ	[✓ 遮光等級：2級] [✓ 防炎] ・	・図示 ・	1.5倍ヒダ
						（暗幕）

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

⑮ カーテンレール

材料等 (20.2.16)
レール及びブランケットの強さによる区分 ※10-90 ・
レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
[✓ ステンレス製]
レールの仕上げ ※アルマイト ・
レールの形状 ※角形 ・
カーテン付属物 フック（ひるかん） ※鋼製 ・樹脂製

16 プレキャストコンクリート

補強鉄線の径及び網目寸法 ・図示による ・ (20.3.2)

製作 (20.3.3)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55％以下，単位セメント量の最小値300kg/㎥を満足する調合強度
・図示による
配筋
・図示による
取付け方法 (20.3.4)
・図示による ・

特 記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS－ENGINEERS	管理建築士 一級建築士登録 275483	設 計	製 図	検 図	設計NO.	名 称	図面NO.
				株式会社 高 橋 建 築 設 計 事 務 所	高 橋 潤				縮尺 Ａ１ No scale Ａ３ No scale	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 建築工事特記仕様書（その8）	Ａ－０８

⑳ ユニット及びその他の工事〈続き〉

17 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み

材料等 (20.4.2)

材　料	材　種	種　類	質量区分	備　考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート間知ブロック	―		・A ・B	

工法 (20.4.3)
　積み方　※谷積み　・布積み
　目塗り　・図示による　・
　伸縮調整目地　材種　・図示による　・
　　　　　　　厚さ　・図示による　・

⑱ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）
　・90×150　・120×80　⊙120×150　・150×80　・図示による
材質　・集成材（仕上げ：　　　　）
　　　・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
　　　　種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1種　・BC-2種
　　　　色合い　・標準色（　　　）　・特注色（　　　）
　　　・鋼製（仕上げ：　　　　）
　　　⊙木製既製品

⑲ 天井点検口

材　種	寸　法	形　式		外　枠	内　枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ

⑳ 床点検口

材　種	寸　法	形　式		備　考
⊙アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ⊙鋼製	・450×450 ⊙600×600 ⊙φ600	⊙一般形 ⊙密閉形 ・	⊙屋内外用 ⊙屋内用	⊙鍵付き

21 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備　考
・垂直方法 ・水平方向	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目　地	内　壁	外　壁
目地材	・シーリング材（見え掛り部のみ） ・	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・幅20×深さ10 ・	・幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による

㉒ 止水板

形式　・差込式　⊙据置式　・壁張り式
施工箇所　⊙図示による　・

23 エキスパンションジョイント金物

材　種	クリアランス	耐火性能	備　考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50　・100 ・150　・	・有り（　　　） ・無し	

外部は防水型とする

24 くつふきマット

材　種	受　け　枠	備　考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS 304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS 304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉕ 流し台ユニット（機械設備工事）

材　種	寸　法（mm）			備　考
	W	D	H	
⊙流し台	⊙1,200 ・1,500 ・1,800	⊙550 ・600 ・650	⊙800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
⊙コンロ台	⊙600	⊙550 ・600 ・650	⊙620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙つり戸棚	⊙1,200 ・900	⊙450	・500 ⊙700	市販品
⊙水切り	・1,200 ⊙900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能　JIS A 4420による
形状　※図示による　・

26 旗竿

材　質	形　式	高さ（m）	操作方法	固定方法	備　考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	

27 旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS 304）　・

28 車止め支柱

形　式		材　種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）
・上下式鎖内蔵型	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・ ・
・				

29 フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
　　　　　　　　・樹脂塗装メッシュフェンス
　　　　　　　　・鋼管フェンス
　　　　　　　　・アルミフェンス
高さ　　　　　　・図示による　・

30 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷量による種類
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種　・

㉛ 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

32 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

33 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込み型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

㉞ 収納家具

材質形状・寸法　※図示による　・
合板，集成材，MDF，パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

35 屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し

㊱ 敷地境界石標

種類　※コンクリートブロック製（市販品）
　　　・花こう石類（文字記号等入り）

㉑ 排水工事

① 屋外雨水排水（機械設備工事）

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材　種	種類・記号	形　状	呼び径	備　考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示　・	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊙VP		⊙図示　・	
	・VU		・図示　・	
	・RS―VU		・図示　・	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV		・図示　・	
	・VU継手		・図示　・	

基床の厚さ及び種類　・図示による　・ (21.2.2)
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・ゴム輪 (21.2.2)
側塊の形状及び寸法　・図示による　・ (21.2.1)
排水桝の種類　・図示による　・ (21.2.1)
砂地業に用いる材料 (21.2.1)
　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21.2.1)
　・再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.2.1)
　※普通コンクリート　・
　設計基準強度　※18N/mm²　・
　スランプ　※15cm又は18cm　・
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・ (21.2.1)
凍上抑制層に用いる材料　・ (21.2.1)
　砂を用いる場合の粒度試験　・行う　・行わない

・標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)の排水桝を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21.2.2)
　・幅400mm，径22mmのステンレス製
　・径22mmの防錆処理を行った鋼製
　・径19mmの成樹脂被覆加工を行ったもの

② 鋳鉄製ふた（機械設備工事）

種類 (21.2.1)

名　称	種　類	適用荷重	鍵	備　考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・T―2用 ・T―6用 ・T―20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

3 グレーチング

材料等 (21.2.1)

材　質	形　式	用　途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼製	・受枠付き，ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・（　）	・凹凸形 ・
			・T―2用 ・T―6用 ・T―14用 ・T―20用	※普通目 ・細目	・（　）	・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き，ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・	―	・凹凸形 ・
			・T―2用 ・T―6用 ・T―14用 ・T―20用 ・T―25用	・	―	・平形 ・

4 街きょ，縁石，側溝

材料 (21.3.1)(表21.3.1)

種　類	形状，寸法
・縁石	・図示　・
・L形側溝	・図示　・
・U形側溝	・図示　・
・U形側溝ふた	・図示　・
・自由勾配側溝	・図示　・

砂地業の材料 (21.3.1)
　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21.3.1)
　・再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ　※100（mm）　・図示による (21.3.2)
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.3.1)
　※普通コンクリート　・
　設計基準強度　※18N/mm²　・
　スランプ　※ 15cm又は18cm　・
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・ (21.3.1)
凍上抑制層に用いる材料　・ (21.3.1)
　砂を用いる場合の粒度試験　・行う　・行わない

⑤ 埋戻し土

※B種（標準仕様書表3.2.1）　・ (21.2.1)

22 舗装工事

1 路床

路床の材料 (22.1.3)(22.2.2)(22.2.3)

種　別	材　料	厚　さ（mm）
・盛土	標準仕様書 表3.2.1により ・A種　・B種　・C種　・D種	・図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂	・図示 ・

透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ　・図示による　・

路床安定処理　・適用する　・適用しない (22.2.2)(22.2.3)
　安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
　添加材料 (表22.2.1)
　　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種
　　　　　・フライアッシュセメントB種
　　　　　・生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
　　添加量を定めるために用いるCBR（　　　） (22.2.4)

試験 (22.2.5)
　路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
　路床締固め度の試験（現場密度）　・行う　・行わない
　現場CBR 試験　・行う　・行わない

2 路盤

路盤の厚さ　・図示による　・ (22.3.2)
路盤材料　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・粒度調整砕石 (表22.3.1)
　　　　　※再生粒度調整砕石　・クラッシャラン鉄鋼スラグ
　　　　　・粒度調整鉄鋼スラグ　・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

3 アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示による　・ (22.4.2)
材料
アスファルト　・再生アスファルト（・60～80　・80～100）
　　　　　　　・ストレートアスファルト

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)

区　分	地　域	種　類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F)

試験
　アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

4 コンクリート舗装

コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)

舗装の種類	部　位	構　成	厚　さ（mm）
コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示　・	※70　・図示
	車路及び駐車場	・図示　・	・図示　・

材料 (22.5.3
　コンクリート　※標準仕様書表22.5.1による　・図示による
　早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
　注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
施工：目地 (22.5.4)
　種類，間隔，構造　※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による　・図示による
舗装の平たん性 (22.5.2)
　舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

5 カラー舗装

・加熱系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
　構成・厚さ　・図示による　・
　表層に用いる加熱系混合物の結合材
　　・アスファルト混合物
　　・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　　　%）
　加熱系混合物に添加する材料
　　・着色骨材（　　　）　・自然石（　　　）
　アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない (22.6.6)

・常温系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
　工法　・ニート工法　・塗布工法
　着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
　ニート工法及び塗布工法の配合等　・

舗装の平たん性 (22.6.6)
　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

6 透水性アスファルト舗装

舗装の構成　※図示による　・ (22.7.2)
材料 (22.1.3)(22.7.3)
アスファルト　※再生アスファルト（・60～80　・80～100）
　　　　　　　・ストレートアスファルト
試験 (22.7.6)
　開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・ (22.7.2)

7 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N） ・透水性平板（P） ・保水性平板（M）	・300角 ・	※60 ・	・砂 ・モルタル

クッション材　・砂　・空練モルタル (22.8.2)
仕上がり面の平たん性　※コンクリート平板間の段差3mm以内　・ (22.8.2)

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	部　位	形状，寸法	厚さ（mm）	曲げ強度（N/mm^2）	色彩，表面加工等
※普通ブロック（N）	車路	・図示	※80　・	※5.0　・	・標準品 ・
・透水性ブロック（P）	歩行者用通路	・図示	※60　・	※3.0　・	
・保水性ブロック（M）					

インターロッキングブロックの割付け　・図示による　・ (22.8.4)
仕上がり面の平たん性　※コンクリート平板間の段差3mm以内　・ (22.8.2)

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	部　位	形状，寸法	厚さ（mm）	曲げ強度（N/mm^2）	色彩，表面加工等
※普通ブロック（N）	車路	・図示	※80　・	※5.0　・	・標準品 ・
・透水性ブロック（P）	歩行者用通路	・図示	※60　・	※3.0　・	
・保水性ブロック（M）					

インターロッキングブロックの割付け　・図示による　・ (22.8.4)
仕上がり面の平たん性　※コンクリート平板間の段差3mm以内　・ (22.8.2)

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	形状，寸法	厚さ（mm）	割付け	基層(mm)
・小舗石（花崗岩） ・	・図示 ・	・80 ・	・図示 ・	・コンクリート舗装 (※70　・　) ・アスファルト混合物 (※50　・　)

クッション材　・砂　・空練モルタル (22.8.2)
舗石の割付け　・図示による　・ (22.8.4)
仕上がり面の平たん性　※コンクリート平板間の段差3mm以内　・ (22.8.2)

8 砂利敷き

種別 (22.9.2)(表22.9.1)
　通路　※A種　・図示による
　建築物周囲その他　※B種　・図示による（　　　）　・

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない (23.1.3)
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

2 植栽基盤の整備

整備内容 (23.2.2)(表23.2.1)(表23.2.2)

植　栽	工　法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲（面積）	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
・芝，地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備（暗きょ，開きょ，排水層縦穴排水等） (23.2.2)
　・設ける（※図示　・　　　）　・設けない

3 植込み用土

・現場発生土の良質土　・客土 (23.2.3)

4 土壌改良材

種類，指定量 (23.2.3)(23.2.4)
・バーク堆肥
　施工箇所　・植栽範囲　・図示による
　指定量　植栽基盤面積1㎡あたり（・　L　・　　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
　施工箇所　・植栽範囲　・図示による
　指定量　植栽基盤面積1㎡あたり（・　L　・　　）

5 樹木

樹種，寸法，株立数　・図示による　・ (23.3.2)
刈込みものの適用　・適用する（数量：　　）　・適用しない

6 支柱

支柱材の種類　※丸太（間伐材）　・真竹　・ (23.3.2)
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・

形式 (23.3.3)
　・添え柱形　・鳥居形　・ハツ掛け形
　・布掛け形　・ワイヤ掛け形　・地下埋設形

7 幹巻き用材料

材料　※幹巻き用テープ　・わら　・こも (23.3.2)

8 芝

種類　※コウライシバ　・ノシバ (23.4.2)
芝張りの工法 (23.4.3)
　平地　※目地張り　・べた張り
　法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けは種

種類等 (23.4.2)

種子の種類	種子の量（g/㎡）	備　考
※洋芝類		
・		

10 地被類

種類等 (23.4.2)

植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数
・	・	・	・
・	・	・	

11 新植，移植樹木，芝等の枯保証

新植樹木の枯補償の期間（芝張り，吹付けは種及び地被類を含む） (23.3.4)(23.4.7)
　※引渡しの日から1年　・　・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23.3.6)
　・引渡しの日から1年　・　・無し

12 屋上緑化

植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
　・屋上緑化システム
　　土壌層の厚さ　・図示による　・
　　排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　　）　・板状成形品
　　植込み用土　※改良土　・人口軽量土
　・屋上緑化軽量システム

樹木，芝及び地被類 (23.5.3)
　樹種，寸法，株立数　・図示による　・
　刈込みものの適用　・適用する（数量：　　）　・適用しない
　見切り材，舗装材，水抜き管，マルチング材等 (23.5.3)
　　・図示による　・

工法 (23.5.4)
　平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
　　・図示による　・
　支柱　・設置する（形式　・図示　・　　）(23.5.4)
　かん水装置　・設置する（種類　・図示　・　　）(23.5.4)

特　記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS	管理建築士　一級建築士登録　275483	設　計	製　図	検　図	設計NO.	名　称	図面NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋　潤				縮尺 A１　No scale A３　No scale	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 建築工事特記仕様書（その9）	A−09

工事区分表

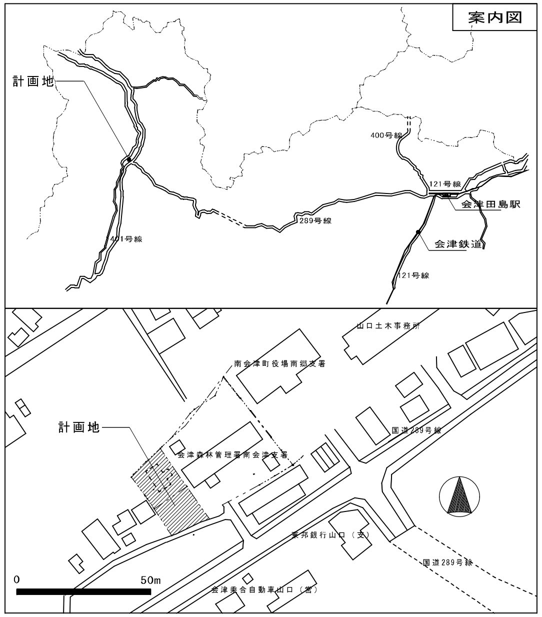
	建築	電気	機械	外構	別途	備　考
仮設電力の電力料金	○	○	○			
仮設上下水道の使用料金	○	○	○			
仮設電気・水道・下水の引込負担金	○	○	○			
仮設電気・水道・下水の引込工事	○	○	○			
設備機器基礎コンクリート		○	○			
同上以外の設備架台		○	○			
アンカーボルト箱入れ、埋込	○					
床・壁・梁のスリーブ（床スラブ孔開け含）	○	○	○			
設備スリーブ及び箱抜き等		○	○			
設備スリーブの防水処理		○	○			
同上補強工事	○					
はつり・穴開け補修工事	○	○	○			
点検口（天井・床下・壁面）	○	○				
軽量間仕切・軽量天井下地の開口及び補強	○					各工事にて必要なもの
同上墨出し	○	○	○			各工事にて必要なもの
ボードの開口	○	○	○			
同上ボード類の処分	○					
タラップ	○					
露出配管・ダクト等の見えがかり仕上	○	○	○			各工事毎
配管・ダクト等の防水、シーリング	○	○	○			各工事毎
家具工事	○					
サイン工事	○					
カーテンボックス	○					
ドアガラリ・ドアアンダーカット	○					
竪樋	○					
竪樋以降の雨水桝・雨水側溝・雨水配管工事			○			雨水枡及び雨水排水管　接続共
雨水貯留槽工事一式						
屋外造成工事						
自転車置場（屋外）				○		
物置（屋外）				○		
フェンス（屋外）				○		
屋外駐車場，歩道工事				○		
同上照明器具及び接続		○				
地中埋設オイルタンク						
同上土工事・躯体工事						
非常用発電機						
同上基礎工事						
キュービクル（屋外）						
同上土基礎工事						
受水槽						
同上基礎工事						

	建築	電気	機械	外構	別途	備　考
各種衛生器具			○			衛生設備：衛生器具表記載項目以外は建築工事
同上配管、配線接続工事		○	○			
ミニキッチン・流し台・コンロ台・吊戸・水切			○			衛生設備：衛生器具表記載項目以外は建築工事
同上配管、配線接続工事		○	○			
洗面カウンター			○			衛生設備：衛生器具表記載項目以外は建築工事
同上配管、配線接続工事		○	○			
栄養実習台（混合水栓・排水トラップ・コンロ・オーブン共）						
同上配管、配線接続工事						
小便器・洗面器取付用壁下地補強	○					
鏡			○			衛生設備：衛生器具表記載項目以外は建築工事
便器、便器廻シーリング	○		○			甲板廻シーリングは建築
洗面器廻、水廻シーリング	○		○			洗面カウンター廻りシーリングは建築
上記取付用壁下地補強	○					
衛生器具に伴うライニング（フカシ壁）	○					
消火器	○					
消火器ボックス	○					
ＯＡフロア（下地モルタル、ＯＡシート、据付含む）						
同上 コンセント取り出し、配管、配線接続工事						
床暖房工事						
防火区画貫通処理	○	○	○			
煙感知器連動扉及びレリーズ		○				
同上感知器・配管、配線及び制御盤		○				
電動オーバースライダー及びレリーズ						
同上配管、配線及び制御盤						
インターホン		○				
同上配管、配線工事		○				
電話交換機					○	
電話機本体					○	
同上アウトレット及び空配管工事		○				
情報用ＨＵＢ		○				
同上アウトレット及び配線工事		○				
同上空配管工事		○				
電話、光ケーブルの引込配線工事		○				
同上引込から分界点までの空配管工事		○				
各機器への電源供給		○				

	建築	電気	機械	外構	別途	備　考
エアコン室内外渡り制御配線工事			○			
エアコン手元スイッチ			○			
同上制御配線・配管工事		○	○			
集中リモコンスイッチ			○			総合盤（電気設備工事）へ組込み
同上制御配線・配管工事		○	○			
換気設備機器			○			
換気設備機器スイッチ		○	○			全熱交換器・24時間換気機能付換気扇ｽｲｯﾁは機械設備工事より電気設備工事へ支給
同上制御・電源配線、ダクト工事		○	○			
ガス給湯器			○			
同上リモコン制御配線、配管工事		○	○			
同上電源配線、配管工事		○	○			
消雪配管設備工事			○			
同上制御盤、配管工事、深井戸水中ポンプ		○	○			
同上電源配線、配管工事		○	○			
同上下地工事	○		○			
電熱ヒーター、排水路ヒーター設備工事			○			
同上制御盤、配管工事		○	○			
同上電源配線、配管工事		○	○			
給水引き込み工事			○			
下水道接続工事			○			
給水加入金					○	
下水道受益者負担金					○	

特　記　内容については監督員との打合せによる。

測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS－ENGINEERS	管理建築士　一級建築士登録　２７５４８３	設　計	製　図	検　図	設計ＮＯ．	名　称	図面ＮＯ．
			株式会社　高橋建築設計事務所	高　橋　　潤				縮尺 Ａ１　No scale Ａ３　No scale	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名　工事区分表（参考）	Ａ－１０

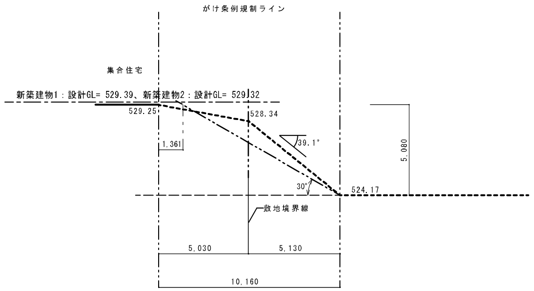


案内図及び配置図（現況部分）：会津森林管理署南会津支署から借用CADを使用

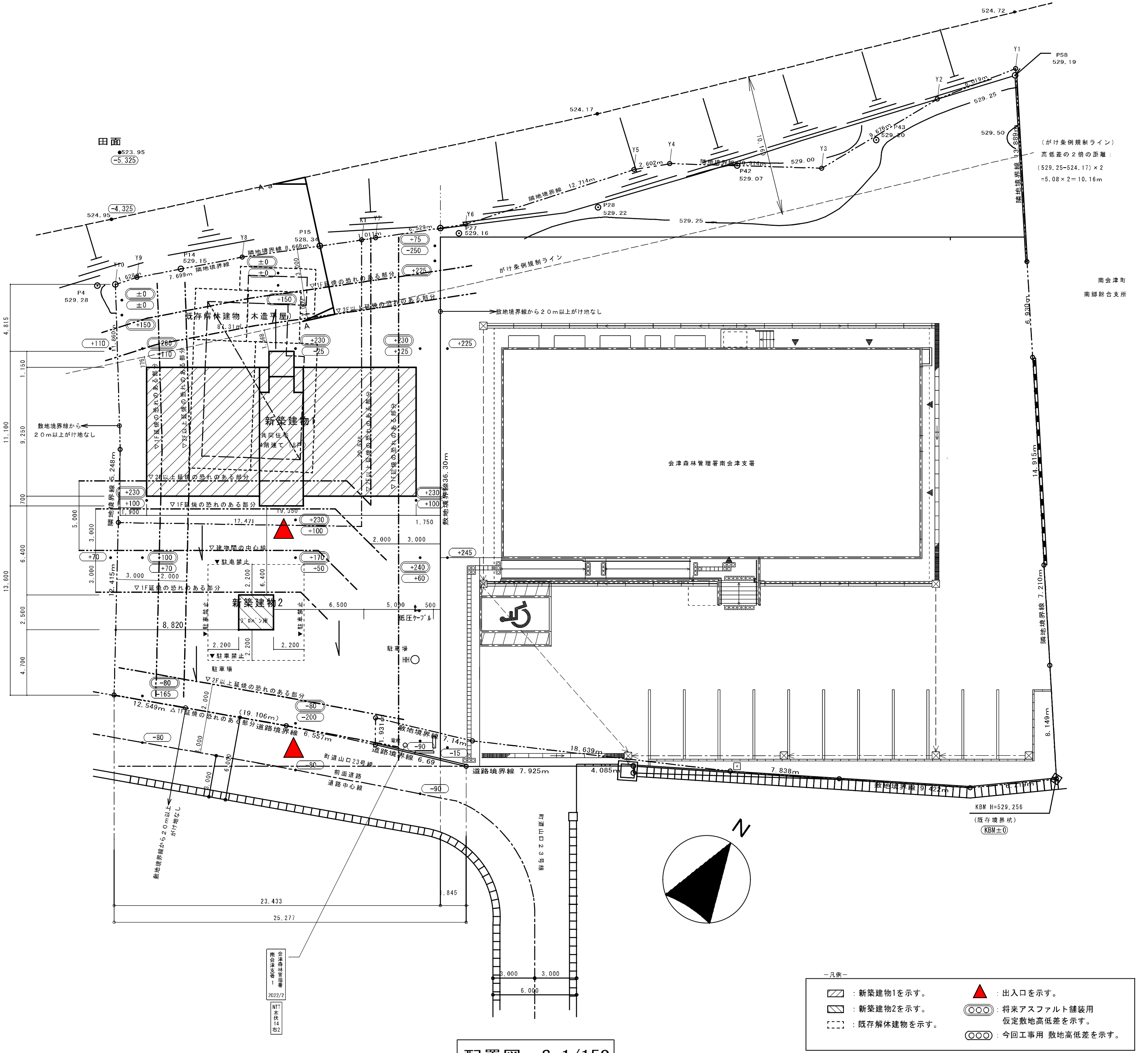
計画建物面積表

記号	名称	構造	建築面積	延 面 積	最高の軒高	最高の高さ
計画建物１	共同住宅	木造　４階建	183.26 ㎡	733.04 ㎡	14.080 m	17.810 m
計画建物２	ガスボンベ庫	木造　平屋建	5.67 ㎡	5.67 ㎡	3.550 m	3.950 m
		合計	188.93 ㎡	738.71 ㎡		

（がけ条例規制ライン）
高低差の２倍の距離：
（529.25−524.17）×２
＝5.08×２＝10.16m



A−Aａ　断面図



配置図　S=1/150

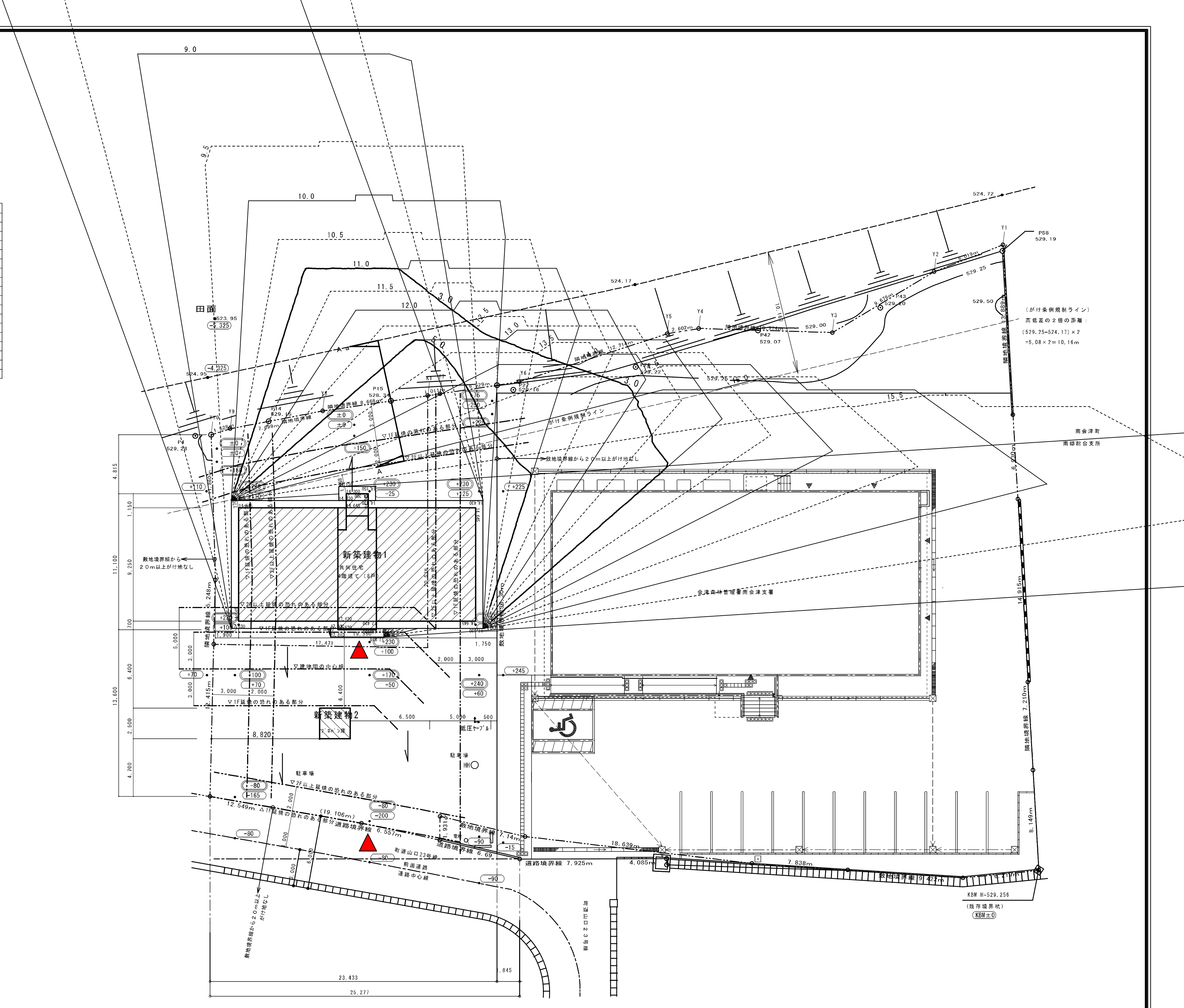
特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS	管理建築士　一級建築士登録　275483	設計	製図	検図	設計NO.	名称	図面NO.
				株式会社　高橋建築設計事務所	高橋　潤				縮尺 Ａ１：S=1/150 Ａ３：S=1/300	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 案内図・新設配置図	Ａ−１１

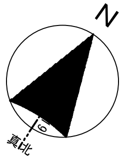
影倍率表 [緯度 = 37.23°][冬至]

時 刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	7°09'	-53°12'	7.972	-6.384	4.776
8:30	11°46'	-48°02'	4.801	-3.569	3.211
9:00	16°00'	-42°27'	3.486	-2.353	2.572
9:30	19°48'	-36°25'	2.778	-1.649	2.235
10:00	23°04'	-29°54'	2.348	-1.171	2.035
10:30	25°44'	-22°56'	2.075	-0.809	1.911
11:00	27°42'	-15°33'	1.905	-0.511	1.835
11:30	28°55'	-7°52'	1.811	-0.248	1.794
12:00	29°19'	0°00'	1.781	0.000	1.781
12:30	28°55'	7°52'	1.811	0.248	1.794
13:00	27°42'	15°33'	1.905	0.511	1.835
13:30	25°44'	22°56'	2.075	0.809	1.911
14:00	23°04'	29°54'	2.348	1.171	2.035
14:30	19°48'	36°25'	2.778	1.649	2.235
15:00	16°00'	42°27'	3.486	2.353	2.572
15:30	11°46'	48°02'	4.801	3.569	3.211
16:00	7°09'	53°12'	7.972	6.384	4.776

日影長さ表 [緯度 = 37.23°][冬至]
高さ＝17.810(m)　測定面高さ＝4(m)
計算高さ＝13.810(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	7.972	110.093
8:30	4.801	66.302
9:00	3.486	48.142
9:30	2.778	38.364
10:00	2.348	32.426
10:30	2.075	28.656
11:00	1.905	26.308
11:30	1.811	25.010
12:00	1.781	24.596
12:30	1.811	25.010
13:00	1.905	26.308
13:30	2.075	28.656
14:00	2.348	32.426
14:30	2.778	38.364
15:00	3.486	48.142
15:30	4.801	66.302
16:00	7.972	110.093





日影図　S=1/150

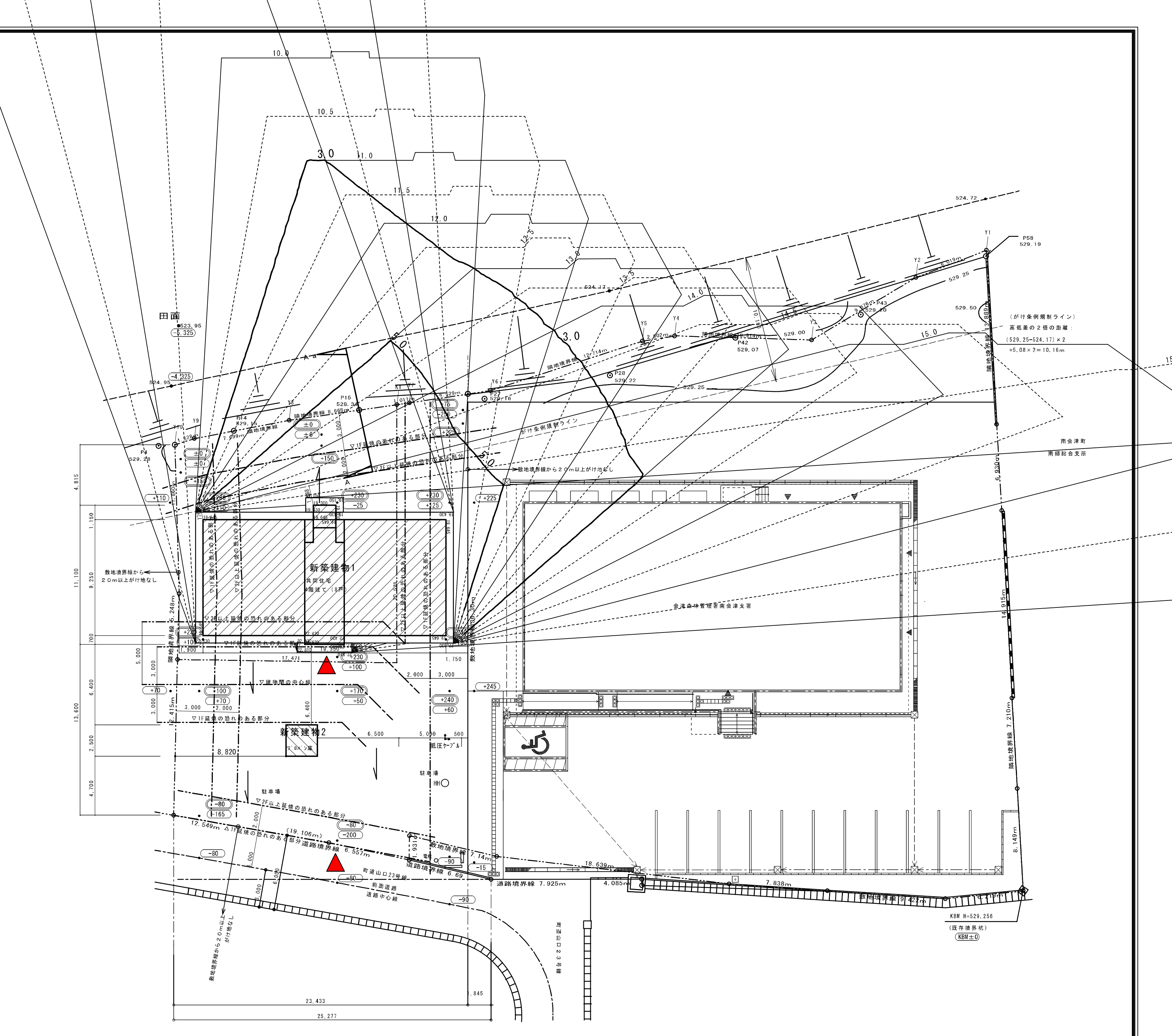
特 記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS	管理建築士 一級建築士登録 275483	設 計	製 図	検 図	設計NO.	名 称	図面NO.
				株式会社 高 橋 建 築 設 計 事 務 所	高 橋 潤				縮尺 A１:S=1/150 A３:S=1/300	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 日 影 図	A−１１a

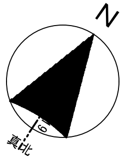
影倍率表　[緯度 = 37.23°][冬至]

時　刻	太陽　高度	太陽方位角	影長倍率	X　倍　率	Y　倍　率
8:00	7°09'	-53°12'	7.972	-6.384	4.776
8:30	11°46'	-48°02'	4.801	-3.569	3.211
9:00	16°00'	-42°27'	3.486	-2.353	2.572
9:30	19°48'	-36°25'	2.778	-1.649	2.235
10:00	23°04'	-29°54'	2.348	-1.171	2.035
10:30	25°44'	-22°56'	2.075	-0.809	1.911
11:00	27°42'	-15°33'	1.905	-0.511	1.835
11:30	28°55'	-7°52'	1.811	-0.248	1.794
12:00	29°19'	0°00'	1.781	0.000	1.781
12:30	28°55'	7°52'	1.811	0.248	1.794
13:00	27°42'	15°33'	1.905	0.511	1.835
13:30	25°44'	22°56'	2.075	0.809	1.911
14:00	23°04'	29°54'	2.348	1.171	2.035
14:30	19°48'	36°25'	2.778	1.649	2.235
15:00	16°00'	42°27'	3.486	2.353	2.572
15:30	11°46'	48°02'	4.801	3.569	3.211
16:00	7°09'	53°12'	7.972	6.384	4.776

日影長さ表　[緯度 = 37.23°][冬至]
高さ＝22.810(m)　測定面高さ＝4(m)
計算高さ＝18.810(m)

時　刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	7.972	149.953
8:30	4.801	90.307
9:00	3.486	65.572
9:30	2.778	52.254
10:00	2.348	44.166
10:30	2.075	39.031
11:00	1.905	35.833
11:30	1.811	34.065
12:00	1.781	33.501
12:30	1.811	34.065
13:00	1.905	35.833
13:30	2.075	39.031
14:00	2.348	44.166
14:30	2.778	52.254
15:00	3.486	65.572
15:30	4.801	90.307
16:00	7.972	149.953





日影図　S=1/150

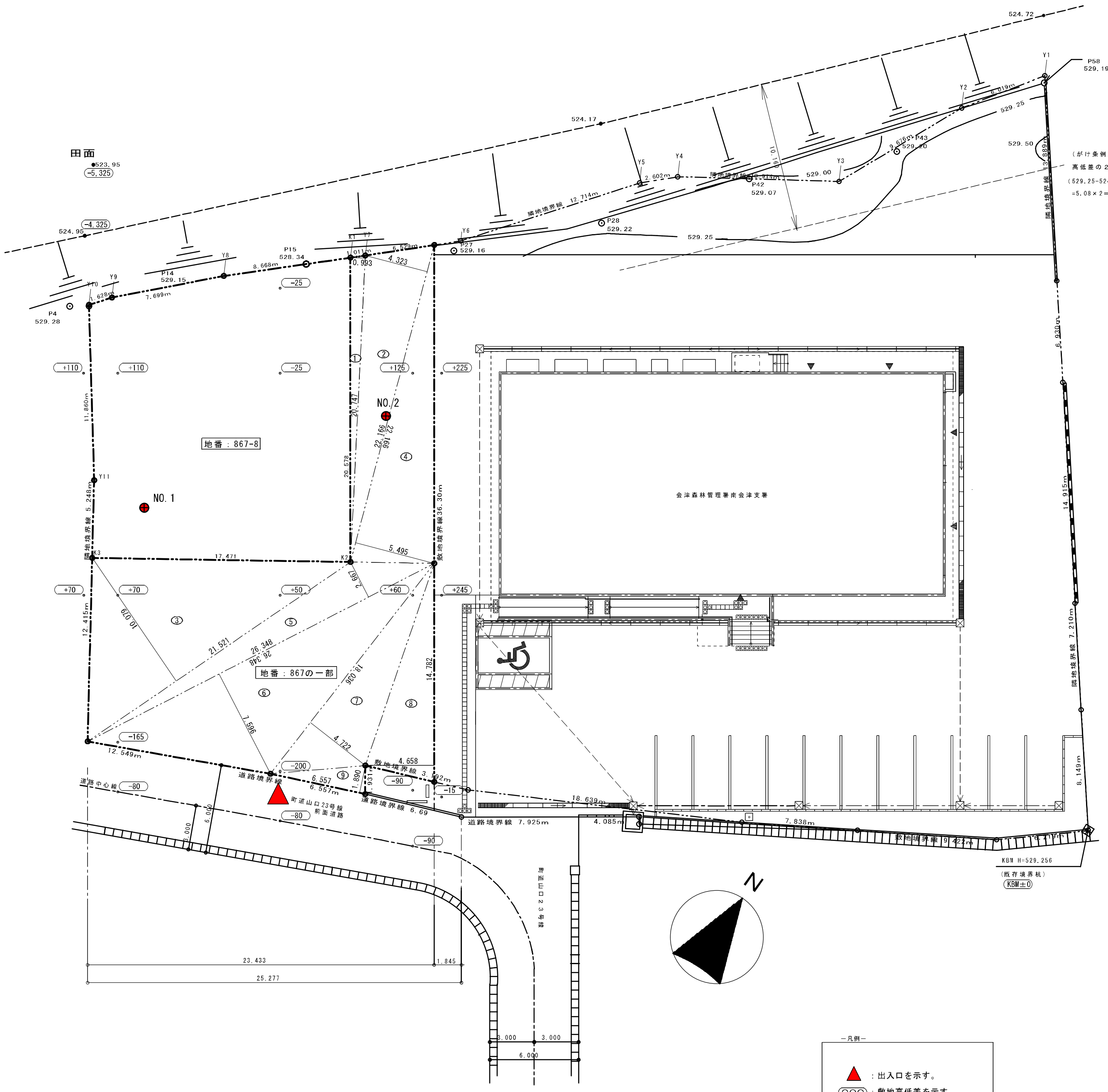
特　記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS 株式会社 高橋建築設計事務所	管理建築士　一級建築士登録　275483 高　橋　潤	設　計	製　図	検　図	設計NO. 縮尺　A 1:S=1/150　A 3:S=1/300	名　称　会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名　日　影　図	図面NO. A−11b

敷地求積表

地番		867-8		
点名	Xn	Yn	Xn+1-Xn-1	（Xn+1-Xn-1）×Yn
K1	135719.776	-26258.148	11.566	-303701.739768
Y8	135714.070	-26264.674	-11.041	289988.265634
Y9	135708.735	-26270.225	-6.595	173252.133875
Y10	135707.475	-26271.256	-11.021	289535.512376
Y11	135697.714	-26264.518	-14.235	373875.413730
K3	135693.240	-26261.773	4.790	-125793.892670
K2	135702.504	-26246.960	26.536	-696489.330560
			倍面積	666.362617
			面積	333.1813085
			地積	333.18 ㎡

地番		867の一部		
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	20.747	0.993	20.601771	10.3008855
2	22.166	4.323	95.823618	47.9118090
3	21.521	10.079	216.910159	108.4550795
4	22.166	5.495	121.802170	60.9010850
5	26.348	2.667	70.270116	35.1350580
6	26.348	7.596	200.139408	100.0697040
7	18.036	4.722	85.165992	42.5829960
8	14.782	4.658	68.854556	34.4272780
9	6.557	1.890	12.39273	6.196365
			合計	445.980260
			敷地面積	445.98 ㎡

867-8番地 + 867番地の一部	333.18㎡ + 445.98㎡ =779.16㎡



－凡例－

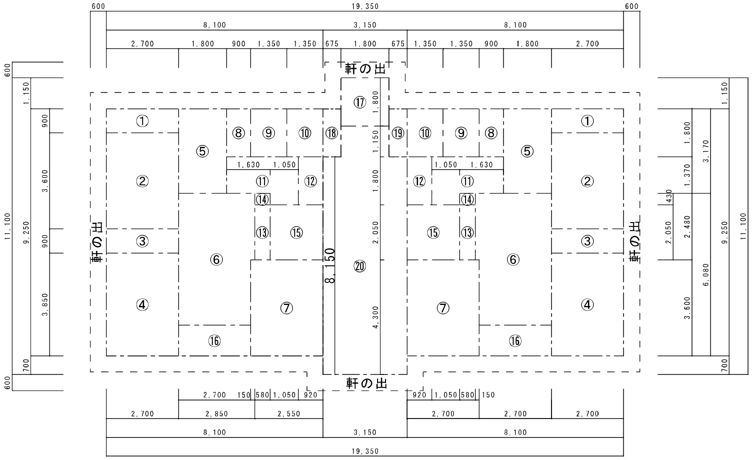
🔺：出入口を示す。

(○○○)：敷地高低差を示す。

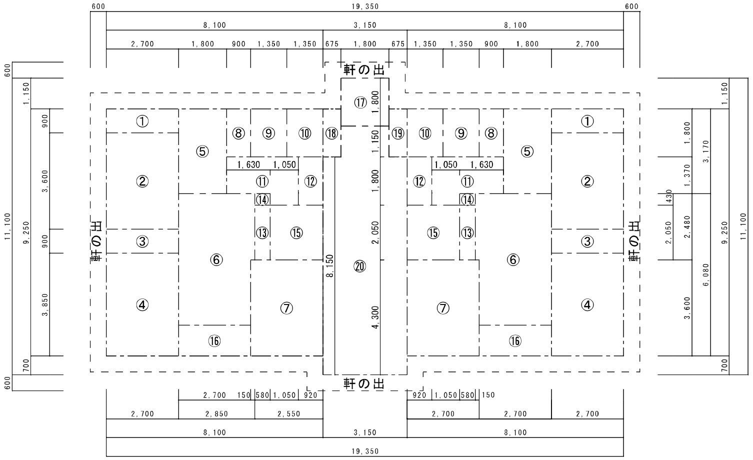
NO. ⊕：地盤調査位置を示す。

敷地求積図　S=1/150

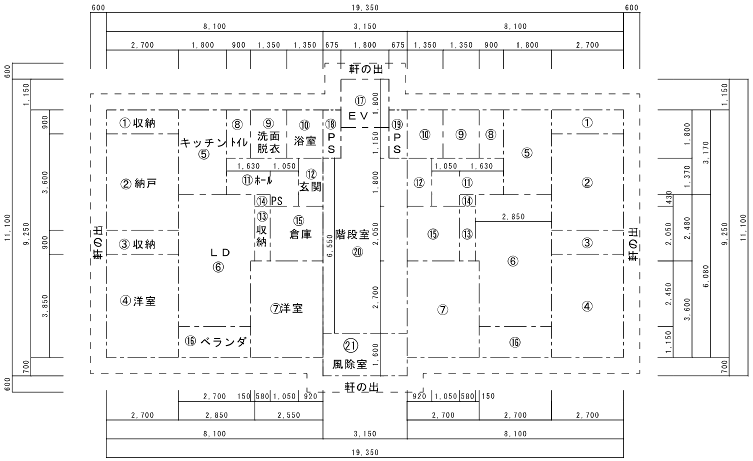
特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS	管理建築士 一級建築士登録 275483	設計	製図	検図	設計NO.	名称	図面NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋 潤					会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事	A－12
									縮尺 A１:S=1/150 A３:S=1/300	図面名 敷地求積図	



４階求積図　S=1/100



２．３階求積図　S=1/100



１階求積図　S=1/100

１戸　求積表(各階共通)			
①	収納	2.70　×　0.90	2.43
②	納戸	2.70　×　3.60	9.72
③	収納	2.70　×　0.90	2.43
④	洋室	2.70　×　3.85	10.395
⑤	キッチン	1.80　×　3.17	5.706
⑥	ＬＤ	2.85　×　2.48	7.068
		2.70　×　2.45	6.615
⑦	洋室	2.70　×　3.60	9.72
⑧	トイレ	0.90　×　1.80	1.62
⑨	洗面脱衣	1.35　×　1.80	2.43
⑩	浴室	1.35　×　1.80	2.43
⑪	ホール	1.05　×　1.80	1.89
		1.63　×　1.37	2.2331
⑫	玄関	0.92　×　1.80	1.656
⑬	収納	0.58　×　2.05	1.189
⑭	PS	0.58　×　0.43	0.2494
⑮	倉庫	1.97　×　2.05	4.0385
⑯	ベランダ	2.70　×　1.15	3.105
合　計			74.925

１階共用部　求積表			
⑰	ＥＶ	1.80　×　1.80	3.24
⑱	ＰＳ	0.675　×　1.80	1.215
⑲	ＰＳ	0.675　×　1.80	1.215
⑳	階段室	1.80　×　1.15	2.07
		3.15　×　6.55	20.6325
㉑	風除室	3.15　×　1.60	5.04
合　計			33.4125

２～４階共用部(共通)　求積表			
⑰	ＥＶ	1.80　×　1.80	3.24
⑱	ＰＳ	0.675　×　1.80	1.215
⑲	ＰＳ	0.675　×　1.80	1.215
⑳	階段室	1.80　×　1.15	2.07
		3.15　×　8.15	25.6725
合　計			33.4125

宿舎　１階　床面積　求積表	
①　～　⑯　×　２戸	149.85
⑰　～　㉑	33.4125
合　計	183.2625
1階床面積　Ａ	183.26㎡

宿舎　２～４階共通　床面積　求積表	
①　～　⑯　×　２戸	149.85
⑰　～　⑳	33.4125
合　計	183.2625
各階床面積　Ｂ	183.26㎡

宿舎　延面積　求積表	
Ａ+(Ｂ×３)	733.04
延面積	733.04㎡

宿舎　建築面積　求積表	
①　～　⑯　×　２戸　＋　⑰　～　㉑	183.2625
合　計	183.2625
建築面積	183.26㎡

特記

測量年月日　作成年月日　訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS
株式会社　高橋建築設計事務所

管理建築士　一級建築士登録　275483
高橋　潤

設計　製図　検図

設計NO.
縮尺　Ａ１:S=1/100　Ａ３:S=1/200

名称　会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事
図面名　建物面積表

図面NO.　Ａ－１３

外 部 仕 上 表

屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.4横葺（ポリエチレンフォーム t=2.0 裏貼）、バックアップ材：押出法ポリスチレン板 パステムボード：ビーズ法ポリスチレンフォーム同等品、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940 野地板：ｾﾝﾁｭﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ（ｱ）18耐火野地板　30分耐火　（国土交通大臣認定３０分耐火構造　FP030RF-1763-2（1）） 破風板・鼻隠し 幅200mm 板金巻き　ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.40　※消雪配管設備（取付下地共）
	※電熱ヒーター部において仕様上　・ポリエチレンフォーム t=2.0 裏貼は、無しとする。 ・バックアップ材：押出法ポリスチレン板は、無しとする。
軒天井	軒天：繊維混入ケイ酸カルシウム板（t=12　木目）
外壁	窯業系防火サイディング張　t=16塗装品　強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) H12建告第1399号 第１-（三）ｰﾄ-（1）
外部柱・梁	窯業系防火サイディング張　t=16塗装品（梁天端：アルミ笠木付）　強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上) 柱：H12建告第1399号 第2-（四）ーへ　梁：H12建告第1399号 第4-（四）ーホ
基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し

ベランダ	床：強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 構造用合板t=12の上 ｾﾝﾁｭﾘｰ耐火野地板（ｱ）18　ＦＲＰ防水　DR-1552号　（飛火試験合格）
	壁：窯業系防火サイディング張　t=16塗装品　強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) H12建告第1399号 第１-（三）ｰﾄ-（1）
	天井：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上）の上繊維混入ケイ酸カルシウム板（t=12　木目）
ルーフドレイン	鋳鉄製　タテ型
軒樋	鋼板製内樋：フッ素ガルバリウム鋼板　t=0.5　W120　落ち葉除け付き ※共通）軒樋、竪樋：ヒーター設備敷設
竪樋	アルミ製 114φ　※共通）軒樋、竪樋：ヒーター設備敷設

開口部	アルミ製建具：見込み70、100ｍｍ 鋼製ドア：見込み100ｍｍ
笠木	アルミ笠木
目隠し縦格子	木調アルミルーバー（点検開口加工　掛金付（各戸共）：開口位置は立面図参照）
その他	図示による（ベランダ：物干し金物、手すり他）

内 部 仕 上 表

階別	室名	区分	床高	床	幅木	腰壁	壁	天井	天井廻縁 天井高	表札	サイン	カーテンボックス	カーテンレール	カーテン		備考	室名
各階共通	玄関	下地	居室FL-76.5	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15							下足箱 上り框	玄関
		仕上		外部用長尺塩ビシート　（ｱ）=2.5	杉上小UC H=60 (2段)		ビニルクロス貼り	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,476.5								
	ホール	下地	居室FL±0	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15								ホール
		仕上		ＷＰＣフローリングt=12	杉上小UC H=60		ビニルクロス貼り	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,400								
	ＬＤ	下地	居室FL±0	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15			○	○ SUS W	○		収納スペース	ＬＤ
		仕上		ＷＰＣフローリングt=12	杉上小UC H=60		ビニルクロス貼り 一部不燃木板ｔ=15（不燃　ＮＭ-0917）+CL塗	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,400								
	キッチン	下地	居室FL±0	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15							ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：W2,250×H150×D19（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　t=19同等品）	キッチン
		仕上		ＷＰＣフローリングt=12	杉上小UC H=60		ビニルクロス貼り 一部不燃ﾊﾟﾈﾙ貼 t=3（見切金物共）（不燃ＮＭ-2576）	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,400								
	洋室・納戸	下地	居室FL±0	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15			○	○ SUS W	○		洋室2・納戸：収納スペース　棚板（2段）+ ハンガーパイプ32φ 手すり	洋室・納戸
		仕上		ＷＰＣフローリングt=12	杉上小UC H=60		ビニルクロス貼り 一部 CLT(ｱ)36ｍｍ+CL塗	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,400								
	トイレ	下地	居室FL±0	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15							棚板：W750×H300×D19（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　t=19同等品） ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：W750×H150×D19（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　t=19同等品）	トイレ
		仕上		ＷＰＣフローリングt=12	杉上小UC H=60		ビニルクロス貼り	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,400								
	洗面脱衣	下地	居室FL±0	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15							ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：W650×H150×D19（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ　t=19同等品）	洗面脱衣
		仕上		ＷＰＣフローリングt=12	杉上小UC H=60		ビニルクロス貼り	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,400								
	収納	下地	居室FL±0	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15							棚板（2段）+ ハンガーパイプ32φ	収納
		仕上		ＷＰＣフローリングt=12	杉上小UC H=60		ビニルクロス貼り	石膏ボードｔ9.5の上ビニルクロス貼り	2,400								
	倉庫	下地	居室FL-76.5	木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12			木軸下地 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15							棚板（2段）	倉庫
		仕上		外部用長尺塩ビシート　（ｱ）=2.5	杉上小UC H=60 シート巻上げ H=76.5		ＥＰ－Ｇ塗	石膏ボードｔ9.5の上ＥＰ－Ｇ塗	2,476.5								
共有部分	風除室	下地	1F居室FL-841	スラブコンクリートの上モルタル木ゴテ			強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15							郵便受（８戸用）+宅配ボックス：１ヶ所（４ボックス） 掲示板　1200×900：１ヶ所　アルミ枠 衝突防止マーク 30Φ　SUS	風除室
		仕上		300角　磁器タイル貼	150角磁器ﾀｲﾙ貼		窯業系防火サイディング張t=16塗装品	ＥＰ－Ｇ塗	2,450								
	階段室	下地	居室FL-123.5	1階：コンクリート金ゴテ押え、木床組 1階一部：モルタル木ゴテ、　2階以上：木床組 強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上) 遮音マット敷t=9+構造用合板t=12	シート巻上げ H≒100		強化石膏ボードｔ21+ｔ21二重張り(42mm以上)	4階　：強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15二重張り(27mm以上) 1～3階：強化石膏ボードｔ21+ｔ25二重張り(46mm以上)	木製UC 36×15	○ 玄関	○ 切文字 PS部					手摺 エレベーター 表札SUS　Ｗ210×Ｄ5.5×Ｈ118（８ヶ所） 階数表示SUS Ｗ210×Ｄ24×Ｈ125（７ヶ所）	階段室
		仕上		1階一部：300角　磁器タイル貼 1階～4階：外部用長尺塩ビシート　（ｱ）=2.5 階段部分：桁及び下地は木造 【踏面・蹴込・段裏】 強化石膏ボードｔ12.5+ｔ15 二重張り(27mm以上) 【踏面・蹴込仕上】集成材UC 【段裏仕上】ＥＰ－Ｇ塗	150角磁器ﾀｲﾙ貼		窯業系防火サイディング張t=16塗装品	石膏ボードｔ9.5の上ＥＰ－Ｇ塗	図示								

凡例

ＲＣ	鉄筋コンクリート	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント	ＧＢ－Ｒ	石膏ボード	ＧＷ	グラスウール	ＣＶ	ビニルクロス貼り
Ｓ	鉄　骨	ＥＰ	合成樹脂エマルジョンペイント	（目）	目透かし工法	ＦＫ	ケイ酸カルシウム板	ＦＳ	複層ビニル床シート
ＬＧＳ	軽量鉄骨	ＷＰ	木材保護塗料塗	ＧＢ－Ｓ	耐水石膏ボード	化粧ＦＫ	化粧ケイ酸カルシウム板	ＦＯＡ	帯電防止置敷ビニール床タイル
Ｗ	木	ＨＬ	ヘアライン	ＧＢ－Ｆ	強化石膏ボード	ＤＲ	ロックウール化粧吸音板	ＺＴ	磁器タイル
ＭＲ	モルタル	ＶＰ	塩化ビニル樹脂エナメル塗り	ＧＢ－Ｄ	化粧石膏ボード			ＨＺＴ	半磁器タイル張り
ＳＰＣＣ	冷間圧延鋼板	ＣＬ	クリヤラッカー塗り	ＧＢ－Ｒ－Ｈ	普通硬質石膏ボード			ＡＬ	アルミニウム
ＳＥＣＣ	電気亜鉛メッキ鋼板　鋼板	ＤＰ	耐候性塗料	ＧＢ－Ｓ－Ｈ	シージング硬質石膏ボード			ＳＵＳ	ステンレス
ＺＡＭ	高耐食溶融メッキ鋼板	ＥＰ－Ｇ	合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ 艶あり	ＧＢ－ＮＣ	不燃積層石膏ボード			ＯＡ	フリーアクセスフロア
								ＰＬ	プレート
								ＳＧＰ	白ガス管

【　共通事項　】

＊　工事範囲内について
特記なき限り、内部の　鉄部、配管類はＥＰ－Ｇ塗
特記なき限り、外部の　鉄部、配管類はＳＯＰ塗
特記なき限り、内部の木部は、ＷＰ塗

＊断熱材（外部に面する）
天井：高性能ＧＷ断熱材　24K　t=100
壁　：高性能ＧＷ断熱材　24K　t=100
＊断熱材（その他）
天井：ＧＷ断熱材　24K　t=100
壁　：ＧＷ断熱材　24K　t=100
床（１階床下）：押出法ポリスチレンフォームｔ＝50（3種ｂ）

＊その他
※共通：床タイルカーペット下地及びビニル床シートはセルフレベリングt=10とする
※共通：ビニル床シートはマーブルとする
※防塵塗装：溶剤タイプの防塵塗料、カラートップＵ同等品とする
※継手及び仕口金物は、建告第1460号に定める構造とする。

＊ｼｯｸﾊｳｽ対策
各所、仕上げ材、下地材、断熱材はＦ☆☆☆☆とする
天井裏の措置はＦ☆☆☆☆とする
接着剤、塗料はＦ☆☆☆☆とする
家具及び建具の扉等はＦ☆☆☆☆とする

【　特記　】

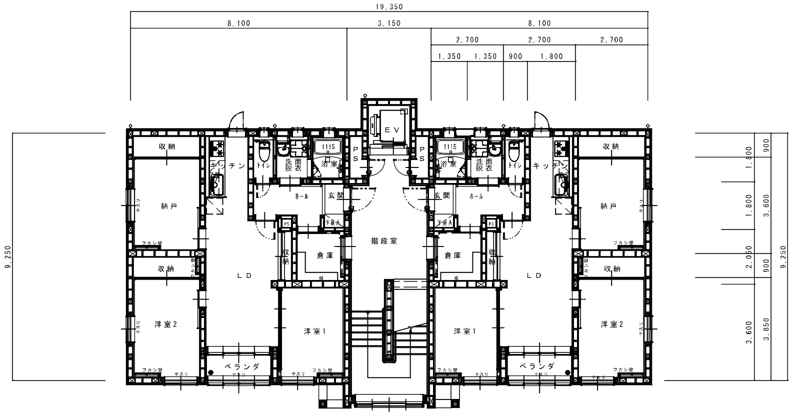
ＧＢ－Ｄ：t=9.5（準不燃　ＱＭ－０５２４）
ＧＢ－Ｒ：t=9.5（準不燃　ＱＭ－９８２８）
ＧＢ－Ｒ：t=12.5（不燃　ＮＭ－８６１９）
ＧＢ－Ｓ：t=9.5（準不燃　ＱＭ－９８２６）
ＧＢ－Ｓ：t=12.5（準不燃　ＱＭ－９８２６）
ＧＢ－Ｓ：t=12.5（不燃　ＮＭ－９６３９）
ＧＢ－ＮＣ：9.5（不燃　ＮＭ－１８６４）
ＦＫ：t=6.0（不燃　ＮＭ－８６１６）
化粧ＦＫ：t=6.0（不燃　ＮＭ－８４２４）
ＤＲ：t=9.0　t=12.0（不燃　ＮＭ８５９９）
ＴＢＺ：t=12.5（不燃　ＮＭ－８６１５）

ビニルクロス：（不燃　ＮＭ-３９９１）

∴　平成１２年建設省告示１３９９号
外壁：第１-（三）-ト-（1）
柱：第２-（四）-へ
梁：第４-（四）-ホ
床：第３-（三）-ホ
屋根：第５-（七）
階段：第６-（五）

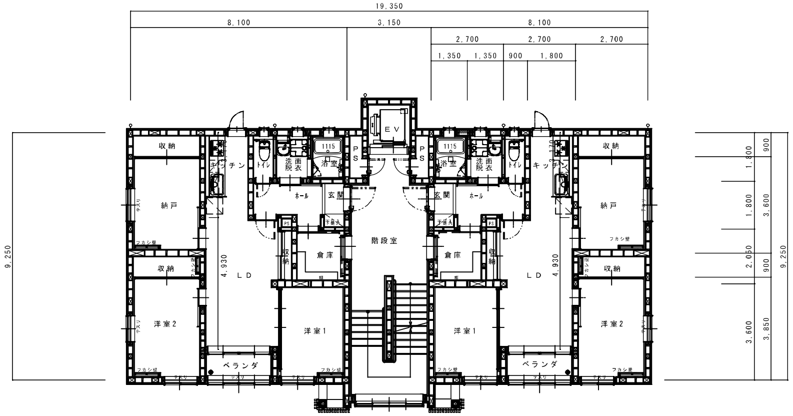
特　記
※　仕上の詳細は、矩計図・部分詳細図参照

測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI　ARCHITECTS－ENGINEERS	管理建築士　一級建築士登録　275483	設計	製図	検図	設計NO.	名称	図面NO.
			株式会社　高橋建築設計事務所	高橋　潤				縮尺 No scale	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 仕　上　表	Ａ－１４



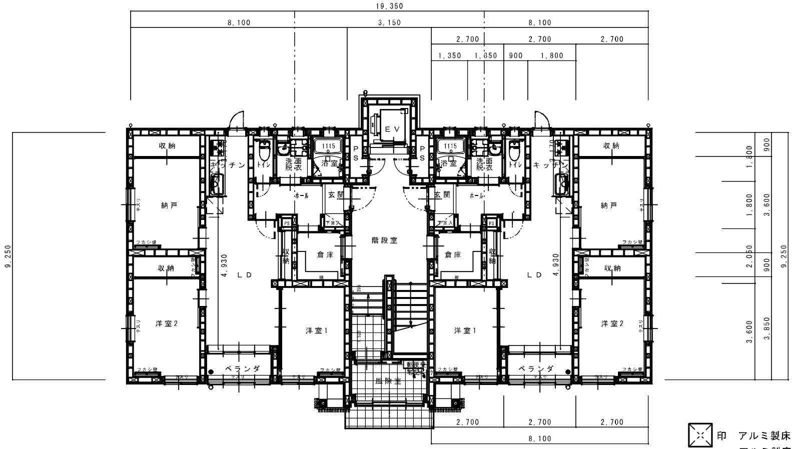
4階平面図　S=1/100

木材は国産材とする。



2・3階平面図　S=1/100

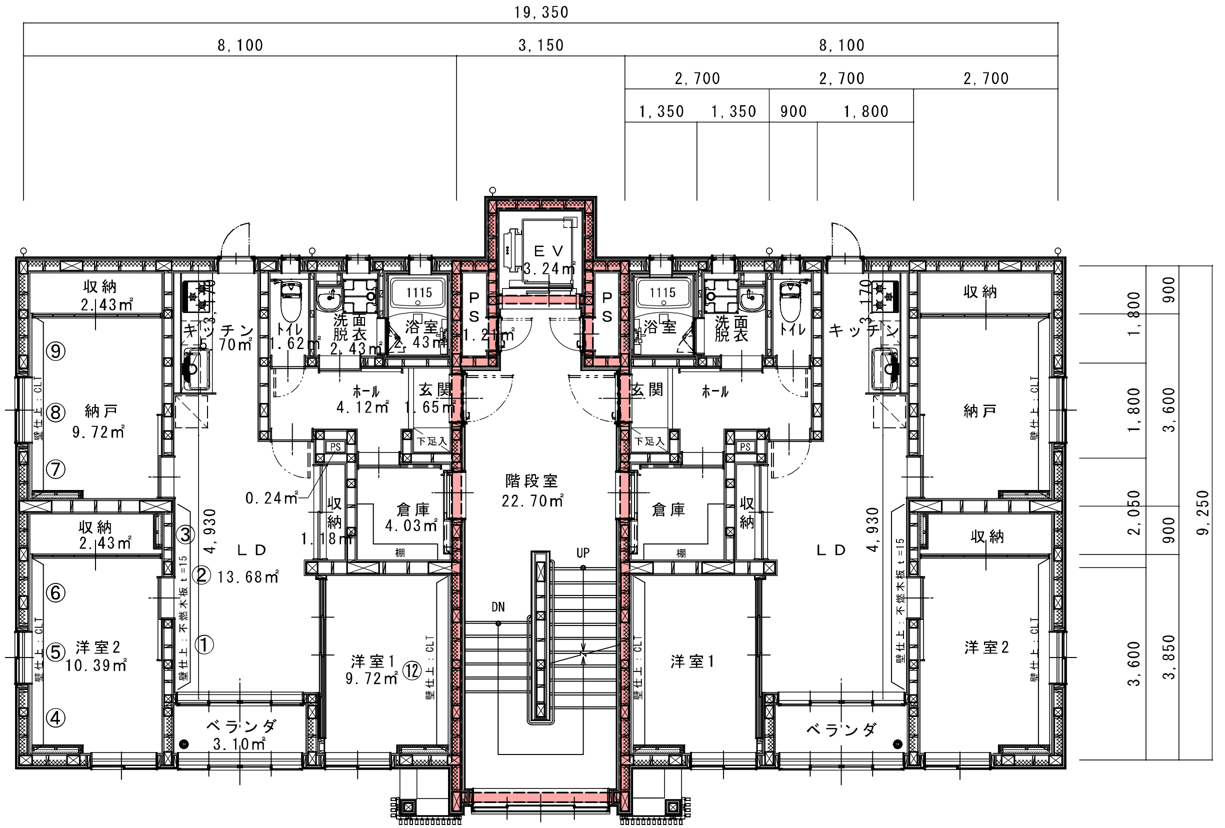
木材は国産材とする。



1階平面図　S=1/100

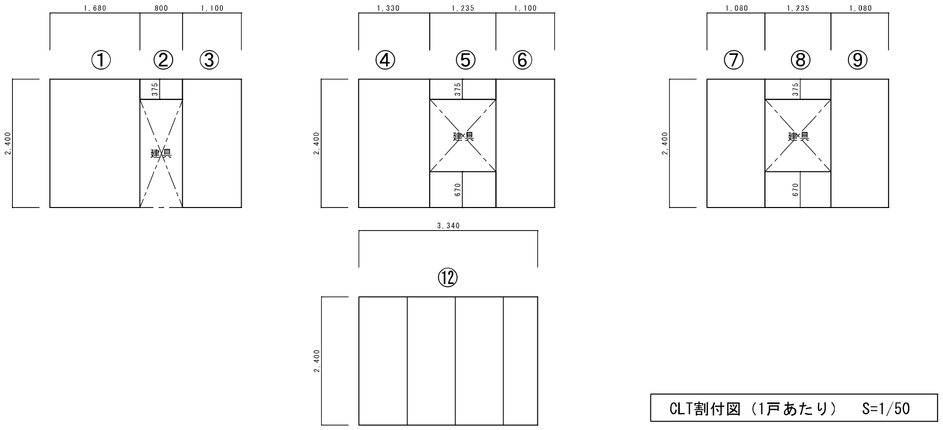
木材は国産材とする。

☒ 印　アルミ製床下点検口600×600を示す（タラップ）
アルミ製床下昇降ステップ



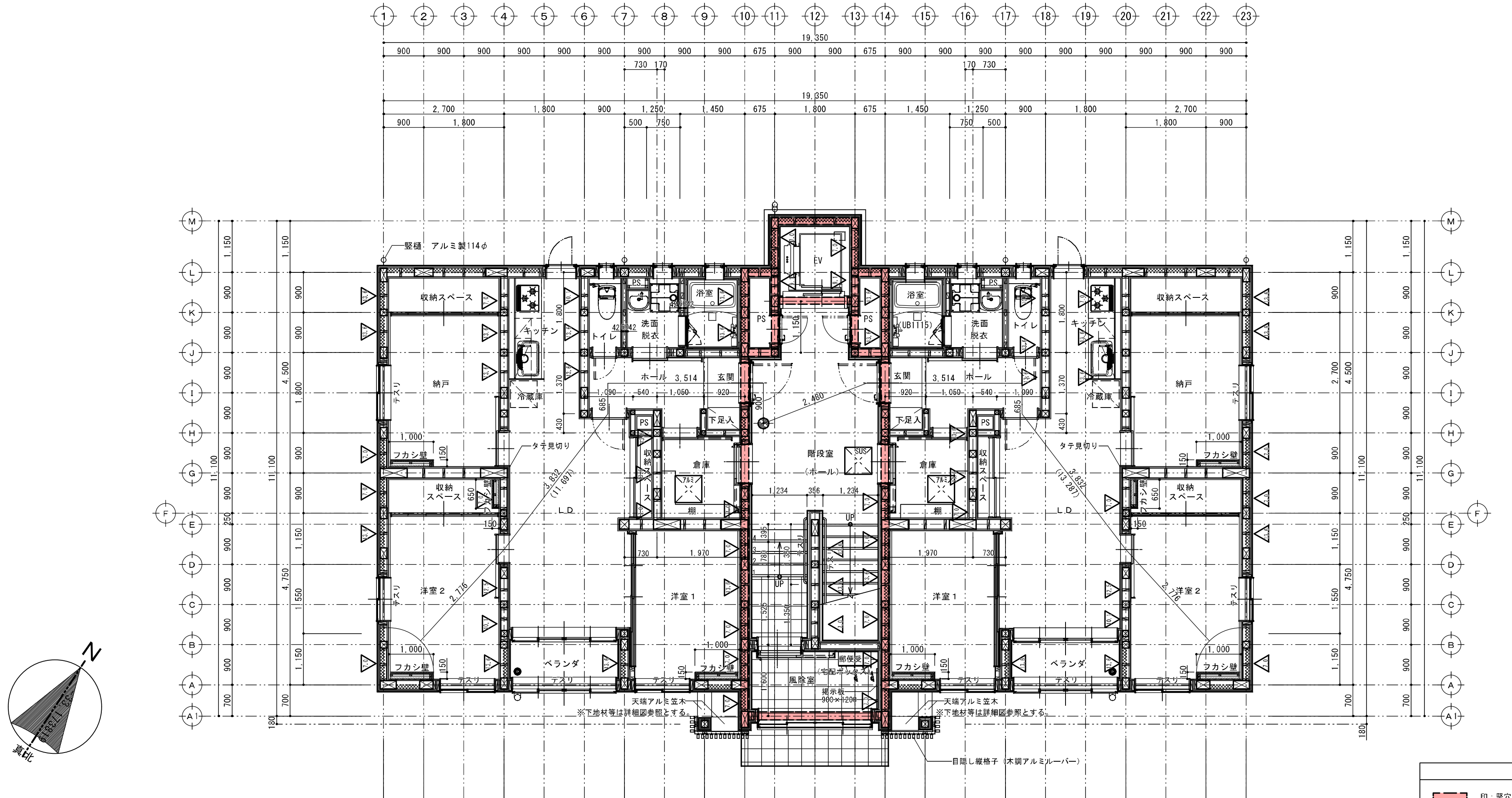
基準階平面図　S=1/50

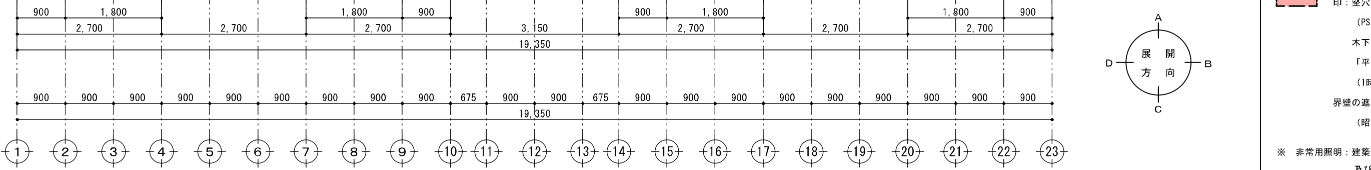
木材は国産材とする。



CLT割付図（1戸あたり）　S=1/50

特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	管理建築士　一級建築士登録　275483	設計	製図	検図	設計NO.	名称	図面NO.
柱の位置・寸法については、構造図による。 木材は国産材による。				株式会社　高橋建築設計事務所	高橋　潤				縮尺 A1：S=1/50、1/100 A3：S=1/100、1/200	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 平面図	A－15





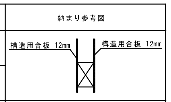
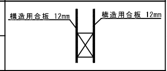
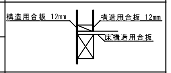
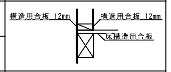
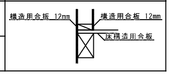
1階 平面詳細図 S＝1/50

⊠ 印 アルミ製、ステンレス製床下点検口600×600を示す。

※間柱については柱の間隔に合わせて450以内のピッチで施工することとする。

1 階 床 面 積	183.26	㎡
2 階 床 面 積	183.26	㎡
3 階 床 面 積	183.26	㎡
4 階 床 面 積	183.26	㎡
延 べ 床 面 積	733.04	㎡
建 築 面 積	183.26	㎡

耐力壁凡例

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
▽13.6	13.6 倍	〈大壁側〉 6.77 倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
		〈大壁側〉 6.77 倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽12.5	12.5 倍	〈大壁側〉 6.25 倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
		〈大壁側〉 6.25 倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽10.1	10.1 倍	〈大壁側〉 6.77 倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
		〈真壁側〉 3.3 倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm 以上 N90@60mm 以下	
▽9.1	9.1 倍	〈大壁側〉 5.8 倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
		〈真壁側〉 3.3 倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm 以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm 以上 N90@60mm 以下	
▽7.0	7.0 倍	〈大壁側〉 3.7 倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm 以上 N90@60mm 以下	
		〈真壁側〉 3.3 倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm 以上 N90@60mm 以下	

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらも対応可とする。

一凡 例一

🟥 印：堅穴区画部分の床・壁（階段室・ホール・ＰＳ）
（PS部分は各階で区画）
木下地＋強化石膏ボードｔ＝21+21（両面張）
「平成12年建設省告示　第1399号」
（1時間木造耐火構造）
界壁の遮音構造：各戸とホール部分
（昭和45年建設省告示1827号）

※　非常用照明：建築基準法施工令第126条の4第4項
及び平成12年建設省告示第1411号による。

印：消火器（ABC粉末10型）
消火器ケース（UFB-3S-2760-HLN　同等品）
置型タイプ（各階１本）合計４本

∴　平成１２年建設省告示１３９９号
各部納まりは部分詳細による。
外壁：第１-（三）-ト-（1）
柱：第２-（四）-ヘ
梁：第４-（四）-ホ
床：第３-（三）-ホ
屋根：第５-（七）
階段：第６-（五）

特　記
- 柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。
- 耐力壁、ブレース等の詳細は、構造図による。
- 耐力壁との取り合いは構造用合板使用の上、段差処理を行うものとする。

測量年月日	作成年月日	訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS—ENGINEERS
株式会社 高橋建築設計事務所

管理建築士　一級建築士登録　２７５４８３
高　橋　　潤

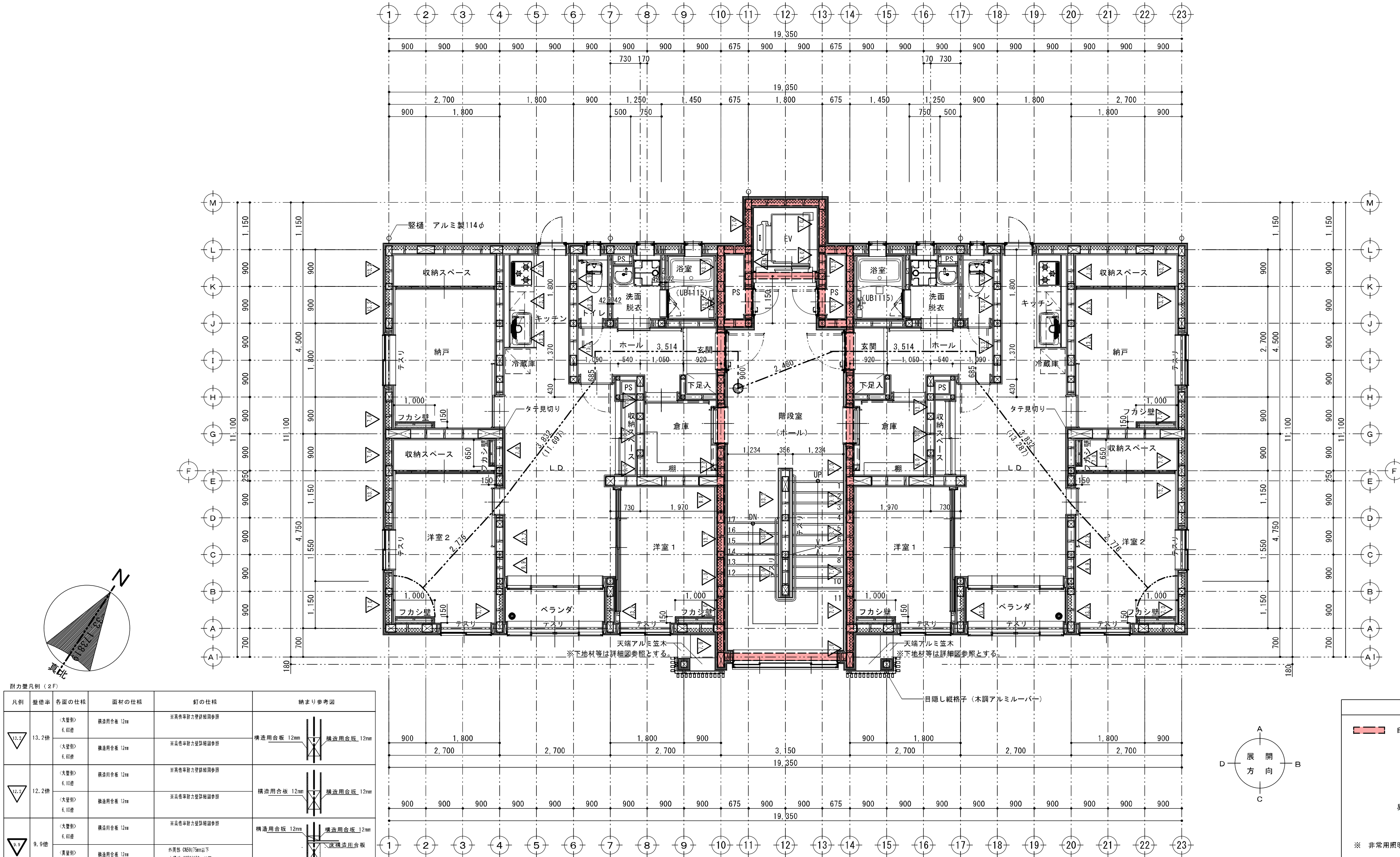
設計	製図	検図

設計NO.
縮尺
Ａ１：S=1/50
Ａ３：S=1/100

名称
会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事

図面名
1階　平　面　詳　細　図

図面NO.
Ａ－１６



耐力壁凡例（２F）

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
13.2	13.2倍	〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12㎜	※高倍率耐力壁詳細図参照	構造用合板 12mm 構造用合板 12mm
		〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12㎜	※高倍率耐力壁詳細図参照	
12.2	12.2倍	〈大壁側〉 6.10倍	構造用合板 12㎜	※高倍率耐力壁詳細図参照	構造用合板 12mm 構造用合板 12mm
		〈大壁側〉 6.10倍	構造用合板 12㎜	※高倍率耐力壁詳細図参照	
9.9	9.9倍	〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12㎜	※高倍率耐力壁詳細図参照	構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12㎜	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
9.0	9.0倍	〈大壁側〉 5.66倍	構造用合板 12㎜	※高倍率耐力壁詳細図参照	構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12㎜	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
7.0	7.0倍	〈大壁側〉 3.7倍	構造用合板 12㎜	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12㎜	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
6.6	6.6倍	〈真壁側〉 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12㎜	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上　釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらも対応可とする。

2階 平 面 詳 細 図　S＝1/50

1 階 床 面 積	183.26	㎡
2 階 床 面 積	183.26	㎡
3 階 床 面 積	183.26	㎡
4 階 床 面 積	183.26	㎡
延 べ 床 面 積	733.04	㎡
建 築 面 積	183.26	㎡

※間柱については柱の間隔に合わせて450以内のピッチで
施工することとする。

—凡　例—

🟥 印：堅穴区画部分の床・壁（階段室・ホール・ＰＳ）
（PS部分は各階で区画）
木下地＋強化石膏ボードｔ＝21+21（両面張）
「平成12年建設省告示　第1399号」
（1時間木造耐火構造）
界壁の遮音構造：各戸とホール部分
（昭和45年建設省告示1827号）

※　非常用照明：建築基準法施工令第126条の4第4項
及び平成12年建設省告示第1411号による。

⊕ 印：消火器（ABC粉末10型）
消火器ケース（UFB-3S-2760-HLN　同等品）
置型タイプ（各階１本）合計４本

∴　平成１２年建設省告示１３９９号
各部納まりは部分詳細による。
外壁：第１－（三）－ト－（1）
柱：第２－（四）－ヘ
梁：第４－（四）－ホ
床：第３－（三）－ホ
屋根：第５－（七）
階段：第６－（五）

特　記
・柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。
・耐力壁、ブレース等の詳細は、構造図による。
・耐力壁との取り合いは構造用合板使用の上、段差処理を行うものとする。

測量年月日
作成年月日
訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS—ENGINEERS
株式会社 高 橋 建 築 設 計 事 務 所

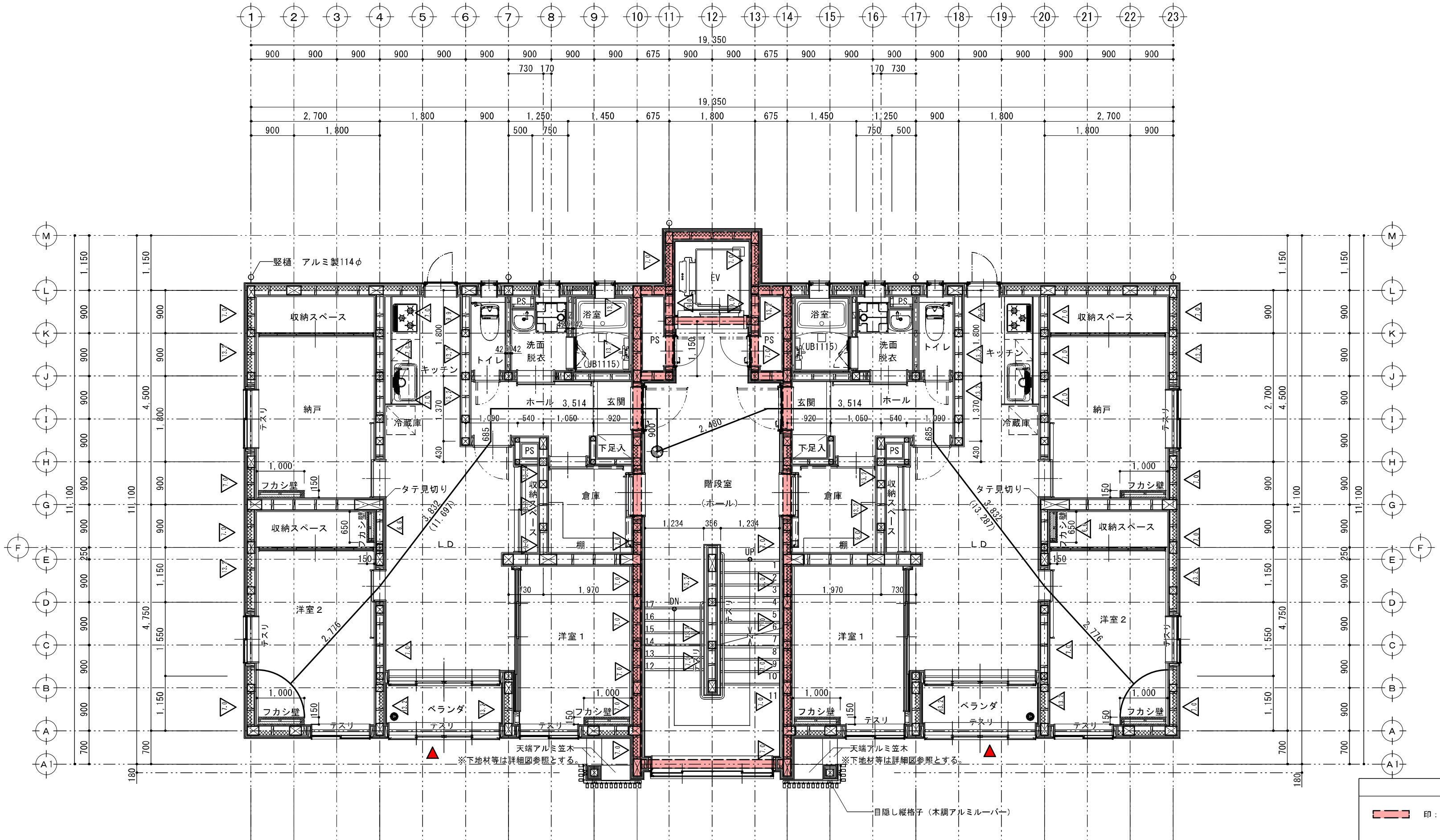
管理建築士　一級建築士登録　275483
高　橋　　潤

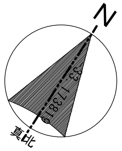
設　計
製　図
検　図
設計NO.
縮尺
A１:S=1/50
A３:S=1/100

名　称
会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事

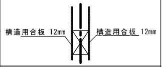
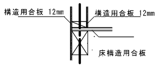
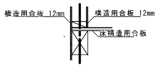
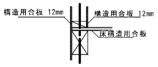
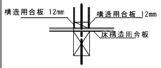
図面名
２階　平　面　詳　細　図

図面NO.
Ａ－１７





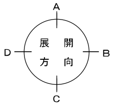
耐力壁凡例（3F）

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
13.2	13.2倍	〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	 構造用合板 12mm 構造用合板 12mm
		〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
9.9	9.9倍	〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	 構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
9.0	9.0倍	〈大壁側〉 5.66倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	 構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
7.0	7.0倍	〈大壁側〉 3.7倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	 構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
6.6	6.6倍	〈真壁側〉 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	 構造用合板 12mm 構造用合板 12mm 床構造用合板

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上　釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらも対応可とする。

3階　平　面　詳　細　図　　S＝1/50

※間柱については柱の間隔に合わせて450以内のピッチで
施工することとする。



1 階 床 面 積	183.26	㎡
2 階 床 面 積	183.26	㎡
3 階 床 面 積	183.26	㎡
4 階 床 面 積	183.26	㎡
延 べ 床 面 積	733.04	㎡
建 築 面 積	183.26	㎡

一凡　例一

▨ 印：竪穴区画部分の床・壁（階段室・ホール・ＰＳ）
（PS部分は各階で区画）
木下地＋強化石膏ボードｔ＝21+21（両面張）
「平成12年建設省告示　第1399号」
（1時間木造耐火構造）

界壁の遮音構造：各戸とホール部分
（昭和45年建設省告示1827号）

※　非常用照明：建築基準法施工令第126条の4第4項
及び平成12年建設省告示第1411号による。

⊕ 印：消火器（ABC粉末10型）
消火器ケース（UFB-3S-2760-HLN　同等品）
置型タイプ（各階１本）合計４本

▲ 印：非常用進入口

∴　平成１２年建設省告示１３９９号
各部納まりは部分詳細による。
外壁：第１－（三）－ト－（1）
柱：第２－（四）－ヘ
梁：第４－（四）－ホ
床：第３－（三）－ホ
屋根：第５－（七）
階段：第６－（五）

特　記
- 柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。
- 耐力壁、ブレース等の詳細は、構造図による。
- 耐力壁との取り合いは構造用合板使用の上、段差処理を行うものとする。

測量年月日	作成年月日	訂正年月日

TAKAHASHI ARCHITECTS−ENGINEERS
株式会社 高橋建築設計事務所

管理建築士　一級建築士登録　２７５４８３
高　橋　　潤

設　計	製　図	検　図

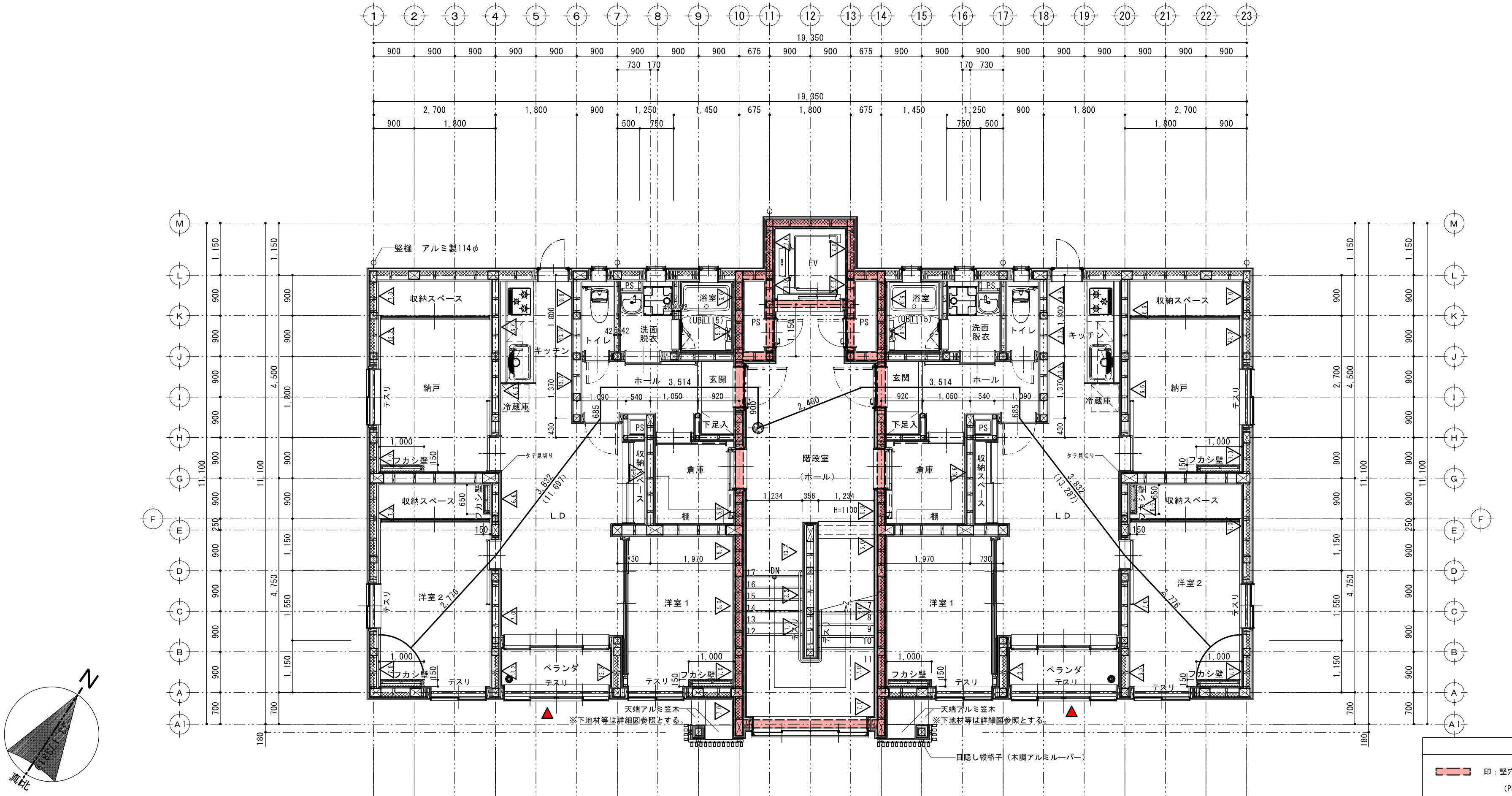
設計ＮＯ.

縮尺
Ａ１:S=1/50
Ａ３:S=1/100

名　称
会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事

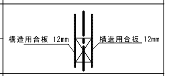
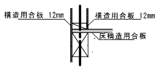
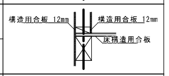
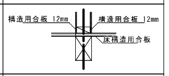
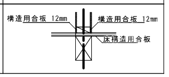
図面名
３階　平　面　詳　細　図

図面ＮＯ.
Ａ－１８



4階 平 面 詳 細 図　S＝1/50

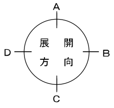
耐力壁凡例（4F）

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
▽ 13.2	13.2倍	〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
		〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
▽ 9.9	9.9倍	〈大壁側〉 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率耐力壁詳細図参照	
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
▽ 7.0	7.0倍	〈大壁側〉 3.7倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
		〈真壁側〉 3.3倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
▽ 6.6	6.6倍	〈真壁側〉 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	外周部 CN50@75mm以下 中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@60mm以下	
▼ 5.0	5.0倍	〈真壁側〉 2.5倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	外周部・中通り CN50@150mm以下 受材45mm×60mm以上 N90@100mm以下	

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上　釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらも対応可とする。

１ 階 床 面 積	183.26	㎡
２ 階 床 面 積	183.26	㎡
３ 階 床 面 積	183.26	㎡
４ 階 床 面 積	183.26	㎡
延 べ 床 面 積	733.04	㎡
建 築 面 積	183.26	㎡

※間柱については柱の間隔に合わせて450以内のピッチで
施工することとする。



一凡　例一

🟥 印：竪穴区画部分の床・壁（階段室・ホール・ＰＳ）
（PS部分は各階で区画）
木下地＋強化石膏ボードｔ＝21+21（両面張）
「平成12年建設省告示　第1399号」
（1時間木造耐火構造）

界壁の遮音構造：各戸とホール部分
（昭和45年建設省告示1827号）

※　非常用照明：建築基準法施工令第126条の4第4項
及び平成12年建設省告示第1411号による。

⊕ 印：消火器（ABC粉末10型）
消火器ケース（UFB-3S-2760-HLN　同等品）
置型タイプ（各階１本）合計４本

▲ 印：非常用進入口

∴　平成１２年建設省告示１３９９号
各部納まりは部分詳細による。
外壁：第１－（三）－ト－（1）
柱：第２－（四）－ヘ
梁：第４－（四）－ホ
床：第３－（三）－ホ
屋根：第５－（七）
階段：第６－（五）

特　記
- 柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。
- 耐力壁、ブレース等の詳細は、構造図による。
- 耐力壁との取り合いは構造用合板使用の上、段差処理を行うものとする。

測量年月日	作成年月日	訂正年月日

TAKAHASHI　ARCHITECTS－ENGINEERS
株式会社　高 橋 建 築 設 計 事 務 所

管理建築士　一級建築士登録　275483
高 橋　潤

設計	製図	検図

設計NO.
縮尺
A１：S=1/50
A３：S=1/100

名　称
会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事

図面名
４階　平　面　詳　細　図

図面NO.
Ａ－１９